

北海道議會時報

特集 第4回定例道議會
第32回衆議院議員總選舉結果

第22卷 第1号

昭和45年1月



北海道議會事務局

…… 第 1 号 目 次 ……

議 会 の 動 き

第4回定例道議会…………… 1

本 会 議…………… 2

決 議・意 見 書……………12

議 会 運 営 委 員 会……………13

常 任 委 員 会……………14

特 別 委 員 会……………19

 総合開発調査特別委員会

 石炭対策特別委員会

 札幌オリンピック冬季大会特別委員会

 北方領土対策特別委員会

 予算特別委員会

請 願 ・ 陳 情…………… 4

資 料

第4回定例道議会の議決を経た条例の公布調……………23

第32回衆議院議員総選挙結果……………24

12 月 の メ モ

表紙写真

—冬の風物詩・こまい漁—

(凍結した氷面に穴をあけ漁をする。氷の上に
こまい
あげられた「氷下魚」は、自然冷凍となる。)

根室支庁提供

議会の動き

第4回定例道議会

- ① 第4回定例道議会は、12月11日招集され、同日開会、会期を12月16日まで6日間に決定の後、常任委員の所属変更および特別委員の補欠選任を行ない、ついで、44年度補正予算をはじめ、道職員給与改定案件ならびに43年度各会計決算等、議案37件、報告2件を上程し、知事の提案説明を聴取した。
- ② 代表質問は12月12日、一般質問は13日から行なわれ、同日質問を終結して直ちに17人からなる予算特別委員会および24人からなる決算特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行ない、15日、1日間休会した。
- ③ 代表質問および一般質問において論議の中心となった問題は、第3期北海道総合開発計画策定の諸問題、社会福祉対策、集団赤痢・食品添加物等医療、食品行政の問題、中小企業対策、雄別炭鉱道東3山再建存続等石炭対策の問題、農産物自由化、米の生産調整および冷害対策

等農業の諸問題、公立高校再編制と教員人事等の問題、冬期交通事故防止対策、広域市町村圏と都市計画の問題、職員定数と機構改革、道および市町村財政と45年度予算編成の問題、道職員給与改定と住宅整備の諸問題等が主に取り上げられた。

- ④ 予算特別委員会は、12月13日に設置され、直ちに正副委員長の互選を行ない、休日の14日から44年度補正予算等に対する各部所管の審議に入り、15日質疑を終結して意見の調整に入り、16日付託案件を原案どおり可決して審査を終了した。
- ⑤ 会期末の12月16日は、44年度補正予算に対する予算特別委員長報告の後、起立多数にて原案可決した後、公務員の住宅手当創設ならびに雄別炭鉱再建に関する要望意見書を全会一致可決、このあと43年度決算を次の議会まで閉会中継続審査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件のすべてを議了、議長から閉会のあいさつがあつて開会以来6日目の12月16日夕刻閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおり。

提出者	提出件数	議決の状況				計
		原案可決	承認議決	閉会中継続審査	報告のみ	
知事	67	38	1	1	27	67
議員計	3	3	—	—	—	3
合	70	41	1	1	27	70

第4回定例道議会に知事から提出のあつた案件

議案

提出月日	番号	件名	議事経過
12.11	1	昭和44年度北海道一般会計補正予算	12. 16 原案可決
同	2	昭和44年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算	同
同	3	昭和44年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算	同
同	4	昭和44年度北海道地方競馬特別会計補正予算	同
同	5	昭和44年度北海道病院事業会計補正予算	同
同	6	昭和44年度北海道有林野事業会計補正予算	同
同	7	昭和44年度北海道電気事業会計補正予算	同
同	8	昭和44年度北海道工業用水道事業会計補正予算	同

同	9	昭和44年度北海道有料道路事業会計補正予算	同
同	10	昭和44年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算	同
同	11	昭和44年度北海道工業団地開発事業会計補正予算	同
同	12	北海道開発審査会条例案	同
同	13	北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案	同
同	14	北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案	同
同	15	北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例案	同
同	16	北海道農業改良普及所条例の一部を改正する条例案	同
同	17	北海道営土地改良事業分担金徴収条例等の一部を改正する条例案	同
同	18	風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案	同
同	19	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	同
同	20	北海道林産物検査条例を廃止する条例案	同

本 会 議

○12月11日 午後零時1分開議、岩本議長、昭和44年第4回定例会の開会を宣し、直ちに開議、日程第1会議録署名議員の指定を行ない、諸般の報告の後、日程第2会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を12月11日から16日まで6日間とすることに決定、つぎに日程第3常任委員の所属変更の件を議題とし、黒松農務委員(自民)を文教林務委員に所属を変更することに決定、つぎに日程第4石炭対策特別委員の補欠選任の件を議題とし、池田議員(自民)を石炭対策特別委員に補欠選任することに決定、つぎに日程第5議案第1号ないし第37号、報告第1号および第2号を議題とし、知事から提案説明を聴取して、午後零時18分散会。

知事説明要旨

ただいま議題となりました昭和44年度補正予算案並びにその他の案件について、その概要を御説明申し上げます。

まず、議案第1号ないし議案第11号の補正予算案につきましては、義務的経費、国庫支出金の確定に伴う経費並び

に当面措置を要する経費について補正することとした次第でありまして、

一般会計	38億1,500万円
特別会計	(減)8億100万円
合計	30億1,400万円

となるのであります。

一般会計の主なものといたしましては、本年度の米生産対策の特別措置として国から交付されることになりました稲作特別対策事業費 21億9,300万円を計上いたしますほか、義務的経費として、昭和43年度決算の確定に伴い、地方財政法第7条の規定により、決算剰余金の2分の1の額と、基金の運用利子を積み立てることとし

財政調整積立金	9億9,300万円を、
老人及び児童福祉施設等における措置基準の改訂等に伴い	
身体障害者援護措置費	1,800万円
精神薄弱者援護措置費	1,600万円
老人福祉保護措置費	6,900万円
児童保護措置費	1億4,400万円を、
国庫補助金の確定等に伴い	
精神病費	5,900万円
一般失業対策事業費	5,200万円
日雇労働者就職促進費	9,300万円
農業構造改善事業費	3,100万円

同	21	雨竜郡多度志町を廃し、その区域を深川市に編入するの件	同
同	22	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	同
同	23	昭和44年度北海道一般会計補正予算	同
同	24	昭和44年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算	同
同	25	昭和44年度北海道地方競馬特別会計補正予算	同
同	26	昭和44年度北海道病院事業会計補正予算	同
同	27	昭和44年度北海道有林野事業会計補正予算	同
同	28	昭和44年度北海道電気事業会計補正予算	同
同	29	昭和44年度北海道工業用水道事業会計補正予算	同
同	30	昭和44年度北海道有料道路事業会計補正予算	同
同	31	昭和44年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算	同
同	32	昭和44年度北海道工業団地開発事業会計補正予算	同

同	33	北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	同
同	34	北海道学校職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	同
同	35	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同
同	36	北海道地方警察職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	同
同	37	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	同
12.16	38	特別職職員の退職手当の額を定める件	同

報 告

提出月日	番号	件 名	議事経過
12.11	1	専決処分報告につき承認を求める件(昭和44年度北海道補正予算12月2日専決処分)	12. 16 承認議決
同	2	昭和43年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	12. 16 閉会中継続審査
同	3	昭和43年度北海道継続費精算報告の件	12. 11 報 告
同	4	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定10月28日専決処分)	同

農業振興地域整備促進費	1,400万円	
土木災害関連事業費	1,100万円	
公営住宅建設費	8,100万円	を
それぞれ追加いたしますとともに、事業計画の変更等に伴い		
身体障害者福祉施設整備費	4,500万円	
自給飼料対策費	9,700万円	
家畜導入事業費	1億円	
漁場造成事業費	6,400万円	
漁港建設費	6,300万円	を
それぞれ減額いたしました。		

次に、当面措置を要する経費といたしまして、本年における異常低温等による農業災害に対する措置として

再生産用種もみ対策事業費補助金	400万円	
果樹病害虫特別防除費補助金	500万円	
社会福祉施設の当面した運営難の解決に資するため、社会福祉協議会を通じて資金の貸付を行なうこととし		
社会福祉事業諸費	5,000万円	
中小企業従業員の年末資金に資するため		
労働者福祉対策費	1億円	
札幌市における自然保護の推進を図るため		
自然保護対策費補助金	6,000万円	
歳末警戒及び未検挙重要事件の特別捜査等のため		
警察活動費	800万円	を

計上いたしました。

これらに見合う歳入の主なものとしたしましては

国庫支出金	23億2,200万円
財産収入	1億2,200万円
繰越金	2億7,100万円
諸収入	6億8,900万円
道債	4億3,100万円

計上いたしました次第であります。

次に、

繰越明許費	3億3,100万円
-------	-----------

につきましては、繰り越しが予定される事業について、地方自治法第213条の規定に基づきそれぞれ所要の措置をとろうとするものであり、また

債務負担行為	32億7,800万円
--------	------------

につきましては、本年度における農業災害資金等に係る利子補給及び損失補償並びに災害復旧事業の早期施行をはかる等のために、それぞれ債務負担行為をしようとするものであります。

次に、特別会計の主なものとしたしましては、地方競馬特別会計において天候不順等による勝馬投票券の売り上げの減少に伴い

8億200万円を減額いたしました。

次に、議案第23号ないし議案第32号の予算案について御

同	5	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定10月28日専決処分）	同
同	6	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定10月28日専決処分）	同
同	7	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定10月28日専決処分）	同
同	8	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定10月28日専決処分）	同
同	9	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定10月28日専決処分）	同
同	10	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月7日専決処分）	同
同	11	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月7日専決処分）	同
同	12	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月7日専決処分）	同
同	13	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月7日専決処分）	同
同	14	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月7日専決処分）	同
同	15	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月7日専決処分）	同
同	16	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月8日専決処分）	同

同	17	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月27日専決処分）	同
同	18	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月27日専決処分）	同
同	19	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月27日専決処分）	同
同	20	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月27日専決処分）	同
同	21	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月28日専決処分）	同
同	22	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月28日専決処分）	同
同	23	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月28日専決処分）	同
同	24	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月28日専決処分）	同
同	25	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月28日専決処分）	同
同	26	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月28日専決処分）	同
同	27	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定12月2日専決処分）	同
同	28	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定12月2日専決処分）	同

説明を申し上げます。

去る11月7日、北海道人事委員会より、道職員の給与について勧告がありましたので、今回これを尊重して、所要の措置を講じようとするものでありまして、一般会計における給与改定に要する経費は

一般職員	16億9,600万円
教育職員	47億7,100万円
警察職員	7億3,100万円
合計	71億9,800万円

となり、これに見合う財源の主なものとしたしましては

道税	16億2,100万円
地方交付税	28億2,800万円
国庫支出金	19億1,600万円
繰越金	7億3,700万円

を計上いたしましたのであります。

次に、特別会計につきましても、各会計ごとに、事業収入、一般会計からの繰入金等を見合いに、それぞれ給与改定に要する経費について補正を行なうこととして

2億3,100万円を

計上いたしました次第であります。

次に、議案第12号の北海道開発審査会条例案は、都市計画法第78条第8項の規定に基づき、北海道開発審査会の組織及び運営に関し必要な事項を定めようとするものであり
議案第15号の北海道日雇労働者就職促進等助成条例の

一部を改正する条例案は、日雇労働者の就職を促進するため、期間を定め、第1種就職支度金の貸付金額の限度額を引き上げようとするものであり

議案第16号北海道農業改良普及所条例の一部を改正する条例案は、農業改良普及所の再編成を行ない普及活動の広域化を推進しようとするものであり

議案第20号北海道林産物検査条例を廃止する条例案は、林産物の生産及び流通の現況にかんがみ、道が行なう林産物の検査を廃止しようとするものであり

議案第21号雨竜郡多度志町を廃しその区域を深川市に編入するの件は、両市町の廃置分合について、地方自治法第7条第1項の規定により議決を得ようとするものであり

議案第22号北海道道の路線の認定及び廃止に関する件は、支笏湖線外14路線を道道の路線に認定し、また、これにより重複することになる2路線を廃止するために、道路法第7条第2項及び第10条第3項の規定により、議決を得ようとするものであり

また、議案第33号ないし議案第37号の道職員、学校職員及び警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案は、これらの職員の全給料表について、給与月額を引き上げを行なうほか、期末手当、扶養手当及び通勤手当等について改正しようとするものであります。

次に、昭和43年度北海道各会計歳入歳出決算について申し上げます。

同	29	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定12月2日専決処分）	同
---	----	------------------------------	---

請 願・陳 情

① 第4回定例道議会において各常任委員会および特別委員会に付託された請願・陳情は、つぎのとおりである。

請 願

議員から提出のあつた案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提出者	議事経過
12.16	1	総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議	天谷 平信君 外16人	12.16 原案可決

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提出者	議事経過
12.16	1	公務員の住宅手当創設に関する要望意見書	島田 薫君 外12人	12.16 原案可決
同	2	雄別炭礦の再建に関する要望意見書	大久保和男君 外13人	同

文書表番号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
289	北海道八雲高等学校校舎改築促進の件	八雲町長 田中 孝一	文教林務	継続審査
290	北海道釧路工業高等学校の間口削減反対の件(外2件)	釧路市長 山口 哲夫	同	同
291	芦別市内道立高等学校間口削減反対の件	芦別市議会議長 三柳亀次郎	同	同
292	新都市計画法施行に伴う農業、農業者対策の件	北海道農業会議会長 鹿野 恵一	農 務	同
293	函館市道汐見立待岬線を道道に認定の件	函館市長 矢野 康	建 設	議決不要
294	札幌市厚別町山本、川下地区を市街化地域に指定の件	札幌市厚別町山本地区川下地区代表 竹内 竹男	同	継続審査
295	越年見舞金増額支給の件	釧路市立病院内陸会会長 石井 孝之	厚 生	採択

まず、一般会計におきましては
 歳入決算額 2,378億9,900万円
 歳出決算額 2,357億9,200万円
 で、差し引き
 21億 700万円
 の剰余金を生じたのでありますが、このうち翌年度へ繰り越した継続費及び繰り越し事業財源に
 3億 500万円 を
 充当いたしましたので、差し引き
 18億 200万円
 の純剰余金を生じた次第であります。

次に、特別会計につきましては
 歳入決算額 103億2,600万円
 歳出決算額 101億5,900万円
 で、差し引き
 1億6,700万円
 の純剰余金となるのであります。
 以上、今回提案いたしました議案の主なものについて、その大要を御説明申し上げた次第であります。
 よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○12月12日 午前11時10分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第37号、報告第1号および第2号を議題とし、代表質問に入り、

西尾議員(自民)から、①社会福祉および医療対策に関し、第3期道総合開発計画をまたずに、45年度から医科大学の新設準備に入るべきと考えるが知事の決意、道町村会の医師派遣センター構想に対し、協力することの考え方、保健所の体制整備に対する所信、道内母子家庭の実態調査を行ない、対策の樹立に対する意思と総合的な社会福祉対策の推進に対する見解、②北海道総合開発と教育の振興に関し、人間能力の開発、殊に教育振興の柱をどのように確立するのかが知事の所信、教育大学の分校統合の具体化と募集定員の再検討に対する見解、③農業問題に関し、全国知事会において説明のあつた総合農政の具体的内容と将来の北海道農業に対する基本的な考え方、米の生産調整に対する具体的配分面積と数量ならびに了解を求める方途の明示、道自体が米作農家の現状に対し生産者等の理解協力を求めることの意味、開田計画変更の有無と措置対策の明示、150万トンの米の調整措置について明春までに協議会を設置し円滑に推進することの所信、稲作転換の具体的誘導策の明示と所信、④中小企業特に工業開発問題に関し、環境条件の変化に伴う対応策、労働力の道外流出、本州企業の進出等、北海道工業開発のあり方に対する再検討ならびに消費材工業の促進等、内陸工業開発に対する基本的姿勢等について質問、知事から答弁、議事進行の都合により、午後零時27分休憩、午後2時10分再開、つぎに

296	長期入院患者に対する生活保障金(見舞金)支給の件	道立釧路療養所内湖療養会 菅田 長吉	同	同	継続審査
297	種雄馬飼養管理事業奨励の件(外1件)	北海道農業協同組合中央会 高橋雄之助	農務	同	同
298	北海道釧路工業高等学校の問口削減学科統廃合反対の件	北海道高等学校教職員組合 釧路支部長 塩田 光世	文教林務	同	同
299	北海道標茶高等学校の学科統廃合反対の件	同	同	同	同
300	北海道弟子屈高等学校の学科統廃合反対の件	同	同	同	同
301	原爆被爆者の医療等救援措置の件	北見市北上 山田 良子	厚生	同	同
302	雄別炭鉱株式会社並びに雄別鉄道株式会社維持存続の件	釧路地域産炭地振興協議会 山口 哲夫	石炭対策	採択	同
303	農業関係制度資金返済延期の件	音更町字中士 幌代表 得地 三郎	農務	同	継続審査
304	農協所有クーラーステーションの認定の件	白根町庶路新 興 稲田喜三郎	同	同	同
305	津軽海峡海域小型さけます流し網漁業の制限屯数に因する件	松前町長 坂本 富雄	水産	同	同

文書表番号	件名	陳情者	付託委員会	審査の結果
154	入院助産施設を江差町に早期設置の件	上の国町議会議長 久末 清	厚生	継続審査
155	硫黄、硫化鉱業振興の件	大滝村長 糸川 章夫	商工労働	同
156	失対労働者の労働条件改善の件	全日自労美唄支部東明公園現場代表 龍田 幸吉	同	同

② 継続審査中のもの。

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
208	連続水害による固定化負債の整理要望の件	農務	取り下げ
226	ダニ熱病による被災の救済と抜本的対策樹立の件	同	同
284	暴風雨による果樹被害に対する対策の件	同	採択
233	道道豊頃糠内芽室線の区域変更の件	建設	同

青木議員(社会)から、①44年度行財政および45年度予算編成方針の諸問題に関し、札幌新道および札幌バイパスの建設、北広島団地および苫小牧工業団地開発問題のその後の経過と知事の所信、食品添加物に対する抜本的対策およびテクロ特別対策予算の使途、45年度予算編成に対する基本的な考え方、超過負担の解消と零細補助金の整理状況、産炭地市町村財政の健全育成問題と取り組む考え方、固定資産税率の引き下げに伴う市町村財政補てん対策、市町村民税の超過課税の解消対策、苫小牧東部工業用地先行取得の方針、市町村公営企業の健全化に対する指導対策、第3期道総合開発計画に対処するための機構の改革と各界各層の意見を取り入れる意思、定数の増員と現員現給、欠員不補充の方針から脱却する時期にきていると考えるが知事の所信、②広域市町村圏に対する諸問題に関し、圏域内への公共施設の集中化による過密激化の懸念性、各省庁の構想との競合に対する見解と受けとめ方ならびに圏域内における自治体の財源措置に対する考え方、市町村合併促進の憂いと指定受け入れに対する所見ならびに財源確保対策、③中小企業対策に関し、道立工業試験場の整備に対する見解、信用保証協会の保証機能の制約化に対する見解、年末の金融情勢の把握と対処方針および中小企業に対する減税施策の明示、④道人事委員会の給与勧告問題に関し、官民との比較に対する算定、標準生計費の算出に対する見解、低給

与職員の是正措置をしない理由および実施時期を明記できない事由、住宅手当支給の創設と勧告をしない理由、住宅整備年次計画にふれない考え方と道職員の住宅整備に対する見解、教員住宅の確保と財源措置の考慮方、実施時期に対する知事の基本的見解と11・13ストに対する処置対策等について質問、知事、人事委員長から答弁、青木議員から再質問、知事から答弁、青木議員から意見があつて、午後4時20分延会。

○12月13日 午前10時59分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第37号、報告第1号および第2号を議題とし、質疑および一般質問に入り、

竹内議員(社会)から、石炭対策に関し、第4次石炭政策に対する知事の評価、石炭鉱業審議会石炭体制部会の早期開催を関係方面に要請することの所見、一般炭に政策の重点がおかれるよう国に要求することの考え方、安定補給金の原料炭なみの引き上げ、新規設備投資について全額無利子融資の実施および一般炭の炭価引き上げに対する見解、運転資金の金融措置に対する特別な補完対策、雄別炭鉱道東3山(雄別、尺別、上茶路)の再建存続維持に対し、知事自ら先頭に立つて国に働きかけることの所信等について質問、知事から答弁、竹内議員から再質問、知事から答弁、つぎに、

大方議員(社会)から、農業問題に関し、冷害対策に対

239	札幌市道西3丁目線舗装工事(国費補助事業)の件	同	取り下げ
254	網走市道能取湖畔線を道道に認定の件	同	採 択
255	網走市道天都山線を道道に認定の件	同	同
275	栗沢町地内6河川の二級河川昇格の件	同	同
278	二級河川元浦川の河口処理の件	同	同

陳 情

文書表 番号	件 名	付 託 委員 会	審 査 結 果
153	多度志町を廃し深川市に編入することの件	総 務	議決不要

③ さらに継続審査されるもの。

請 願

文書表 番号	件 名	付 託 委員 会
27	釧路市に国立医科大学誘致促進の件	総 務

38	自衛隊適格者名簿の作成に反対の件	同
57	上肢障害者の自動車免許条件の制約廃止の件	同
67	国立大学(国立学校)授業料値上げ反対の件	同
73	在宅投票制度復活要求の件	同
74	旭川市に国立大学設置の件	同
90	国鉄札幌電修場廃止反対の件	同
100	千歳、長沼へのミサイル、ナイキハークユリズ基地設置の件	同
101	千歳、長沼へのミサイル基地設置反対決議の件	同
140	所得税法及び地方税法等の改正の件	同
168	駐車許可適用範囲の拡大の件	同
169	盲人等のための交通安全施設充実の件	同
178	個人事業税の大幅減税の件	同

する今日までの措置経過と実態の明示、被害額の過小評価と道の態度ならびに行政的責任、道単独で補完的対策をとる意思および今後の対処方策、米の生産調整、転作、減反等は本道農業の総撤退を意味するものであり、道独自の対策を考えることの所信、米食による学校給食について前向きに対処することの所信、農業災害補償制度の改革に対する受けとめ方と法案撤回要求に対する対応策、乳製品等自由化に対処すべき方策、エム・ケーターの設立に対する経緯と考え方ならびに本道酪農を守り切る対応策、農産物の自由化対策の明示、農業所得の他産業との格差是正を国に働きかけることの所信等について質問、知事から答弁、大方議員から再質問2回、知事、農務部長から答弁、議事進行の都合により、午後1時57分休憩、午後3時7分再開、つぎに

井口議員(社会)から、公立高等学校の再編制に伴う学級減、学科転換問題および高校配置計画策定の諸問題に関し、今回の問口減に対し地元の納得を得られなかつたことの確認と責任を負うという具体的意味、地元の意向をしりぞける理由、進学率の上昇が実情に沿っていないにもかかわらず、道教委案を強行する理由、学科転換を行なう今後の行政方針の明示、大学区制に関し、名門校の復活、2流、3流校の仕分け等学校差の拡大の現状に対する教育長の認識と考え方ならびに今後の抜本的改善方策、男女共学制の崩壊傾向に対する教育長の所見と

改善方策、地元の高校に地元の生徒が入学できない事例の増大、長距離通学者の増加等に対する教育効果への影響、大学区制実施後の実情に対する見解と反省の意思等について質問、教育長から答弁、井口議員から再質問、教育長から答弁、つぎに

高橋(鉦)議員(公明)から、交通事故防止対策に関し、積雪期における交通事故防止のため、歩道除雪徹底に対する見解、救急医療体制の現状と脳外科センターの整備促進に対する所信、道路照明灯の設置促進と交通安全推進員制度創設に対する見解等について質問、知事から答弁、つぎに

木南議員(共産)から、①瀬棚町において発生した集団赤痢対策に関し、地域経済にあたえた損失に対し、国および道で補償することの考え方と被害額ならびに医療行政に対する見解、②食品衛生問題に関し、道内におけるチクロの使用量および積極的対策の明示、③都市計画問題に関し、札幌バイパス路線の一部変更について道も建設省、道路公団と交渉することの意思、小樽駅前の再開発について零細関係権利者の利益剝奪に対し、国に対策を働きかけることの所見、④日雇労働者に対する就職支度金の増額に対する見解、健康診断等による休業補償ならびに就職あつ旋に当たり強制をしないよう条件などに柔軟性をもつて当たることの所信、⑤第3期道総合開発計画案に関し、住民生活向上のための計画とするよう根本的

189	国税不服審判所新設反対の件	同
212	釧山バス路線の存続等の件	同
213	僻地における高等学校の通学バス自主運行許可の件	同
230	過疎対策事業推進の件	同
259	交通信号機設置に関する件	同
285	中央バスの運行本数復元に関する件	同
286	交通信号機及び一時停止標識設置の件	同
287	札幌市北18条西7丁目(斜の通り)に横断歩道標識設置の件	同
31	理容営業施設の適正配置の基準設定に関する件(外1件)	厚生
51	生活保護世帯の緊急援護の件	同
86	医療保険制度の抜本改善反対と日雇健康保険の抜本的改善の件	同
157	生活困窮者に対する越年援護の件	同

206	医療保険抜本改悪に反対の件	同
207	結核予防法による長期入院患者に見舞金支給の件	同
219	黒松内川右岸地域の飲料水対策の件	同
235	重度身障者の社会復帰の件	同
237	老人、障害者(児)、子どもの医療費を無料にする件	同
238	老令者、障害者に対する年金条例化の件	同
264	老人住宅対策の件	同
265	老人医療対策の件	同
266	老人年金対策の件	同
269	と畜場及びその関連工場移転の件	同
28	中小零細工業者に対する融資対策の件	商工労働
82	失対労働者に交通費支給の件	同

に再編成することの見解、⑥教育行政に関し、直轄学校長の非行の経過と高校教育指導者に対する人事の基本方針等について質問、知事、教育長から答弁、木南議員から要望があつて、通告の質疑および質問を終結、ついで大方議員(社会)から、日程第1のうち、予算および決算に関連する議案第1号ないし第11号、第23号ないし第36号、報告第1号および第2号の各案件については、なお慎重審査の必要があると認められるので、17人からなる予算特別委員会および24人からなる決算特別委員会を設置して、これらの案件を付託されたいとの動議が提出され、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、直ちに、つぎの委員を議長指名により選任し、議案第1号ないし第11号、第23号ないし第36号および報告第1号は予算特別委員会に、報告第2号は決算特別委員会に付託した。

予算特別委員

大方 春一 (社会)	新谷 市造 (自民)
東 典 俊 (自民)	大石 利雄 (社会)
小川 謙二郎 (自民)	笠井 幸衛 (社会)
高橋 正四郎 (自民)	遠藤 英吉 (社会)
西尾 六七 (自民)	道下 美作 (社会)
笠島 保 (社会)	桶谷 利男 (自民)
青木 力 (社会)	黒松 秀夫 (自民)
佐々木 豊 (自民)	高橋 源次郎 (自民)

佐藤 幹夫 (自民)

決算特別委員

池島 信吉 (社会)	五十嵐 長寿 (自民)
高橋 正四郎 (自民)	岡田 千代蔵 (自民)
滝沢 勉 (自民)	池田 金助 (自民)
玉村 直一 (自民)	神部 俊郎 (自民)
笠島 保 (社会)	森 春一 (自民)
新村 源雄 (社会)	山下 策雄 (社会)
高橋 俊郎 (社会)	湯田 倉治 (社会)
野中 富雄 (社会)	時田 政次郎 (社会)
浜村 仙三郎 (社会)	高橋 源次郎 (自民)
青木 力 (社会)	川口 常一 (自民)
畑野 スミ (自民)	二瓶 栄吾 (自民)
三上 勇 (自民)	福島 新太郎 (自民)

つぎに残余の議案第12号および第22号は建設委員会に、議案第13号、第18号、第21号および第37号は総務委員会に、議案第14号は厚生委員会に、議案第15号は商工労働委員会に、議案第16号は農務委員会に、議案第17号は農地開拓委員会に、議案第19号および第20号は文教林務委員会にそれぞれ付託することに決定、つぎに日程第2請願第302号を議題とし、本件を異議なく石炭対策特別委員会に付託することに決定、つぎに各委員会議案審査のための休会についてはかり、(12月14日休日)、15日1日間休会、16日再開することに決定して、午後4時47

83	失対労働者に夏期、年末手当及び期末手当支給の件	同
84	失対労働者に石炭手当支給の件	同
85	失対労働者に作業衣をはじめとする労働物資支給の件	同
211	道立職業訓練所に鉱山坑内作業員養成科目設置の件	同
260	老人の労働諸条件改善の件	同
45	生乳の受渡し場所、格付検査及び集送乳合理化長期配乳計画の件	農 務
134	大規模牧野の施設改善並びに事故牛に対する損害補償の件	同
163	農林省十勝種畜牧場用地活用の件	同
267	札幌競馬場駐車場設置反対の件	同
283	北海道立総合園芸試験場設置の件	同
6	政和犬牛別線を道道に認定の件	建 設
14	下水道単独事業に対する道費補助実現の件	同

15	終末処理施設事業費に対する道費補助実現の件	同
22	メナシベツ川改修工事施行の件	同
23	宗谷本線メナシベツ川の鉄橋拡幅の件	同
46	留寿都、真狩村内三ノ原豊浦線を道道に認定の件	同
48	倶知安町道西6号南線を道道に認定の件	同
132	札幌市琴似八軒地区陸橋架設反対の件	同
136	上磯、大野、七飯町3町連絡道路を道道に認定の件	同
177	道道倶知安、ニセコ線除雪実現の件	同
220	黒松内川右岸地域の飲料水断水対策の件	同
227	札幌市南22条(柏中学校前)歩道橋設置早期実現の件	同
231	芽室町道2線道路を道道に認定の件	同
232	道道東札幌停車場線の改良舗装の実施と歩道橋設置の件	同

分散会。

○12月16日 午後3時50分開議、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員西島順三氏の逝去（12月12日）について弔辞を贈り、哀悼の意を表した旨の報告の後、日程第1議案第1号ないし第11号、第23号ないし第36号および報告第1号を議題とし、遠藤予算特別委員長(社会)から、委員会における審査の経過および結果について報告があり、ついで、日程第1のうち議案第1号ないし第5号、第7号ないし第9号、第11号、第23号ないし第36号を議題とし、起立による採決の結果、起立多数にて（共産反対）委員長報告のとおり原案可決、つぎに残余の議案第6号、第10号および報告第1号を議題とし、異議なく委員長報告のとおり議案は原案可決、報告は承認議決、つぎに日程第2議案第12号ないし第22号および第37号を議題とし、渡辺(省)建設委員長(自民)から、議案第12号および第22号について、島田総務委員長(自民)から、議案第13号、第18号、第21号および第37号について、新谷厚生委員長(自民)から、議案第14号について、玉村商工労働副委員長(自民)から、議案第15号について、石畑農務委員長(自民)から、議案第16号について、道下農地開拓委員長(社会)から、議案第17号について、高田文教林務委員長(社会)から、議案第19号および第20号について、それぞれ委員会における審査の経過および

結果について報告の後、日程第2のうち議案第12号、第15号、第16号、第20号、第21号および第37号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）にて委員長報告のとおり原案可決、つぎに残余の議案第13号、第14号、第17号ないし第19号および第22号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決、つぎに日程第3議案第38号を議題とし、知事から提案説明を聴取の後、委員会付託を省略して起立による採決の結果、起立多数（共産反対）にて原案可決、つぎに日程第4決議案第1号を議題とし、説明および委員会付託を省略して、異議なく原案可決、つぎに日程第5意見案第1号および第2号を議題とし、説明および委員会付託を省略して異議なく原案可決、つぎに日程第6請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の後、議長から、請願第293号（函館市道沙見立待岬線を道道に認定の件）および陳情第153号（多度志町を廃し、深川市に編入することの件）については、すでに同一内容の議案が可決されたので議決を要しないものと認め、日程より削除する旨をのべ、ついで残余の請願、陳情を問題とし、異議なく委員会決定のとおり決定、つぎに決算特別委員長から申し出の報告第2号（昭和43年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）について、つぎの議会まで閉会中継続審査に付することに決定、つぎに閉会中請願、陳情審査の件および閉会中事務継続調査の件を議題とし、本件は

234	道道西野白石線拡幅反対の件	同
252	道道京極俱知安線の路面改良及び冬季除雪実施の件	同
253	網走市道北浜明生線及び東藻琴村道上丸万線を道道に認定の件	同
256	網走市道浦士別18線を道道に認定の件	同
262	道道千歳由仁線の全線舗装実施の件	同
268	道道千歳由仁線の舗装促進の件	同
271	秋月橋復旧新設の件	同
272	道道石狩、手稲線に歩道と車道を区分する柵を設置の件	同
273	陸別町道陸別市街線みどり橋架換の件	同
274	豊平川幹線道路工事の設計変更の件	同
276	壮瞥町字壮瞥温泉から虻田町字洞爺湖温泉に通ずる道路の新設の件	同
277	道道昭和新山線の延長の件	同

281	支笏湖周辺道路の開削の件	同
282	道道当別浜益線の悪路解消の件	同
288	室蘭札幌間(美笛経由)道路の建設促進の件	同
176	造田に対する非補助融資の件	農地開拓
218	根釧パイロットファーム(開拓)負債整理対策実施の件	同
261	開拓者の財産保全の件	同
10	北洋はえなわ刺網漁業着業船の増枠分の漁場を在根室国後島引揚者に解放の件	水産
18	北洋たらいはえし漁業許可要望の件	同
152	道立釧路水産試験場加工指導部門の強化拡充の件	同
66	教育系学生の就職希望者完全就職の件	文教林務
116	北海道帯広工業高等学校に電気料設置の件	同
149	北海道静内高等学校農業課程を独立校として設置の件	同

各委員長から申し出のとおり閉会中継統審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第2号を除き、すべて議了、岩本議長から閉会のあいさつがあつて、午後4時25分閉会。

知事説明要旨

ただいま議題となりました議案第38号特別職職員の退職手当の額を定める件は、さきに退職した北海道監査委員安斎孫一君の退職手当の額について、北海道知事等の退職手当に関する条例第3条の規定により、議会の議決を得ようとするものであります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり本委員会は、去る13日設置され、昭和44年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案25件、報告1件が付託されたのでありますが、委員会といたしまし

ては、すみやかに審査を行なうことを目的に、同日、正副委員長の互選を行ないますとともに、審査の方法等を決定し、14、15の両日、これらの案件を中心に質疑を行ない、質疑終結後、各派代表者により意見の調整をはかりました上、さきほどの委員会におきまして、お手元に配付の報告書のとおり結論を得た次第であります。

委員各位におかれましては、短期間ではありましたが休日も含めて御熱心に、かつ慎重に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対しましては、衷心より敬意を表する次第であります。

御承知のとおり、今回本委員会に付託されました案件は、昭和44年度各会計補正予算並びに職員の給与関係条例案等でありまして、補正予算の総額は、各会計を合せて、104億4,400万円余となつており、これらの予算案を中心に道政各般にわたり質疑応答がかわされた次第であります。

以下、質疑を通じて論議の対象となりましたおもなる事項を申し上げますと、

酪農振興対策、稲作の生産調整に関する問題、協業に対する行政指導方針、農業災害対策、米穀配給制度にかかわる問題、委託設計の理由と問題点、観光宿泊施設の不良違反建築物の査察強化と改善方針、可燃性内装建築材の取り締まり方針、昭和45年度開発予算に関し、国庫負担率の改訂問題、社会生活基盤の整備、札幌冬季オリンピック関

155	公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律改正の件	同
214	僻地における道立高等学校の通学バス運行の件	同
247	北海道名寄農業高等学校を独立設置の件	同
248	北海道林業試験場道北分場設置の件	同
249	北海道自然歩道計画案の早期実現の件	同
263	学校給食の米食化の件	同
270	北海道帯広三条高等学校校舎移転改築早期実施の件	同
243	室蘭、本州間国鉄航路開設の件	総合開発調査特
245	青函航路増強の件	同
280	青函トンネル北海道側坑口及び輸送関連施設等配置計画の件	同
196	産炭地域の中小商工業者に対する特別金融制度確立等の件	石炭対策特
197	産炭地鉄道の存続の件	同

279	炭鉱閉山に伴う赤平市茂尻地区振興対策の件	同
64	札幌オリンピック冬季大会協賛宝くじ発行の件	札幌オリンピック冬季大会特

陳 情

文書表番	件 名	付 託 委 員 会
1	浜益村と増毛町との境界変更の件	総 務
10	旧旭川警察署跡地払下げの件(外1件)	同
35	大滝村の寒冷地手当支給地域区分の指定変更の件	同
100	滝川市に空知支庁税務出張所設置の件	同
148	札幌市南9条西13丁目及び豊平7条13丁目に交通信号機設置の件	同
89	生活保護世帯の自立更生対策の件	厚 生
129	北海道寒地農業開発法(仮称)制定の件	農 務

連公共事業予算の確保、北海道東北開発公庫の強化、青函トンネル及び北海道新幹線計画の推進、食品添加物及び不当表示商品等に関連する消費者保護行政のあり方、芸術文化振興の具体策、駐車禁止違反車の取り締まりと今後の方針、警察職員の給与の改善策、苫小牧東部地域おける道営工業団地用地買収問題、企業局機構の強化、職員給与改定の早期勧告、低給与者の給与是正の具体策、通勤手当是正措置、昭和45年度予算編成方針、超過負担の解消、自然保護に関する財政措置、職員給与改定の完全実施、住宅手当の創設、公共事業の北海道特例措置に関する問題、私学育英資金制度の新設、欠員不補充と現状の対応策などであり、

総括質疑におきましては

北海道農業の現状認識と農業行政推進に対する基本姿勢について知事との間で質疑応答がかわされた次第であります。

しかし、前にも申し上げましたとおり、質疑終結後、各派代表者間におきまして意見の調整をはかりました上、さきほどの委員会におきまして、各案件は、いずれもその内容を適切なものと認め、全会一致、議案第1号ないし第11号、議案第23号ないし第36号は原案可決、報告第1号は承認議決と決定した次第であります。なお、議案第1号、第11号及び議案第33号ないし第36号につきましては、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

- 1 国の総合農政の実施にあたっては、北海道農業の実情にそぐわなくなるおそれがあるので、北海道農業の実態に沿った独自の立場をとって、これに対処すべきである。
- 2 昭和45年度開発予算の確保にあたっては、特に補助率に対する北海道の特例措置について従前どおり継続するよう充分配慮すべきである。
- 3 美術館の建設について速かに計画を樹立すべきである。
- 4 道営工業団地の用地取得等については、適正に運用し遺憾のないよう配慮すべきである。
- 5 住宅手当については、年々道内民間企業においても支給拡大にある現状にかんがみ、道関係職員に対する住宅対策について今後一層配慮するとともに、道職員の給与についても低給与者の給与引上げ措置も含め、給与の改善に努めるべきである。

との付帯意見を付されたいとの動議が提出せられ、全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と、その結果を申し上げます、私の報告を終わります。

12月2日中山信一郎議員（自民、札幌市管内）、12月6日阿部文男議員（自民、函館市管内）の辞職に伴い、道議会の勢力分野は、自由民主党56人、日本社会党38人、公正クラブ2人、公明党2人、日本共産党1人、純正無所属1人、欠員5人、計105人となった。

24	七飯町道仁山2号線を道道に認定の件	建設
63	国道5号線と道道西野月寒線を結ぶ琴似本通を道道に認定の件	同
103	国鉄千歳線の市街地高架化の件	同
149	札幌市菊水西町2丁目交差点に横断歩道橋設置の件	同
33	元樺太漁民の北方公海漁業進出の件	水産
65	日ソ平和条約に関連する外交交渉に旧択捉島全鮭鱒漁業者の悲願取りあげの件	同
108	北海道区水産研究所存置方要望の件	同
56	下サロベツ湿原保護の件	文教林務
67	私立旭川医科大学建設に対する支援の件	同
85	道立スキー場設置の件	同
116	石狩湾新港の早期実現の件	総合開発調査特
12	産炭地市町村財政対策の件	石炭対策特

決議・意見書

決議案第1号

(天谷平信君外16人提出)
44.12.16 原案可決

総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議

総合開発調査特別委員会の調査経費は、昭和44年度中1,100万円以内とする。

(理由)

総合開発に関する調査経費について既定の額では不足を生ずるので増額しようとするものである。

意見案第1号

(島田 薫君外12人提出)
44.12.16 原案可決

公務員の住宅手当創設に関する要望意見書

公務員に対し、住宅手当を支給することができるよう所要の措置を要望する。

(理由)

最近、国民の生活水準は著しく向上しているが、住宅事情のみは好転せず、多くの国民は住宅費に多額の費用を要している実情にあり、公務員もまたその例外でない。

北海道の場合、民間企業は、その半数以上が住宅手当を支給している特殊な事情にある。

よつて、政府並びに関係機関においては、これらの事情にかんがみ、公務員に対し住宅手当を支給することができるよう所要の措置を講ぜられたく、強く要望するものである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 岩本政一

内閣総理大臣
大蔵大臣
自治大臣
文部大臣
北海道開発庁長官
総理府総務長官
人事院総裁
衆議院議長
参議院議長

各通 (国会には、請願書として提出する。)

討されているが、同社の雄別炭鉱(阿寒町)、尺別炭鉱(音別町)、上茶路炭鉱(白糠町)の3炭鉱は、いずれも本道における中堅炭鉱として重要な地位を占めており、この再建如何が、道東地域の社会経済に及ぼす影響はまことに重大なものがある。

従つて、同社の経営安定のため、資金の確保をはじめ収支の改善等について特段の措置を講じ、これが再建がはかれるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 岩本政一

内閣総理大臣
大蔵大臣
通商産業大臣
労働大臣
衆議院議長
参議院議長

各通 (国会には、請願書として提出する。)

意見案第2号

(大久保和男君外13人提出)
44.12.16 原案可決

雄別炭礦(株)の再建に関する要望意見書

昨年12月の石炭鉱業審議会の答申に基づく新石炭政策が本年度から実施をみているところであるが、この実施の初年度において炭鉱閉山が相ついでいることは、まことに遺憾である。

このような情勢の中で、現在雄別炭礦(株)の再建問題が検

議会運営委員会

○12月3日 午後1時48分、議会運営委員会室において開議、午後2時6分散会、委員長 奥野 善造（自民）

- ① 各府県における議会運営状況調査報告の内容検討については、後日、検討することとした。
- ② つぎに、中山議員(自民)から12月2日付けをもつて議員辞職の申し出があり、議長は同日許可した旨を報告。
- ③ 常任委員の所属変更および特別委員の補欠選任については、第4回定例会招集前日までに協議決定することとした。
- ④ 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ⑤ 第4回定例会を12月11日に招集することを了承。
- ⑥ 第4回定例会の会期は11日から16日まで6日間、スケジュールは、11日提案説明、12日および13日代表質問および一般質問、13日に予算、決算両特別委員会を設置、14、15日は休会とするが、日曜日の14日も会期等の関係で予算審議をしてもらい、16日本会議とする、なお、予算特別委員会は17人構成（自民10人、社会7人）、決算特別委員会は24人構成（自民14人、社会10人）とし、両特別委員会とも委員長は社会党、副委員長は自民党から選出することを了承。
- ⑥ 代表質問は11日、一般質問は12日正午を通告提出期限とすることを確認。

○12月11日 午前11時35分、議会運営委員会室において開議、午前11時40分散会、委員長 奥野 善造（自民）

- ① 委員長から、12月5日付けで阿部(文)議員(自民)から、一身上の都合により議員辞職願いの申し出があり、議長は12月6日これを許可した旨の通知があつた旨を報告。
- ② 常任委員の所属変更については、黒松農務委員(自民)を文教林務委員に所属変更することならびに欠員中の石炭対策特別委員に池田議員(自民)を補欠選任することを了承。
- ③ 第4回定例会の会期およびスケジュールについて配付の日程のとおり進めることを確認。
- ④ 代表質問の通告期限は本日までとし、一般質問は12日正午までとすること、ならびに代表質問の順位は1番自民党、2番社会党とすることを了承。
- ⑤ 予算特別委員会の構成は17人（自民10人、社会7人）、決算特別委員会は24人（自民14人、社会10人）

とすることとし、設置動議は社会党から提出願う、委員名簿は12日までとすることならびに正副委員長の配分は、予算、決算両特別委員会とも、委員長は社会党、副委員長は自民党に配分することを了承。

- ⑥ 総務部長から、提出案件について説明。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、日程第1会議録署名議員の指定を行ない、諸般の報告の後、日程第2会期決定の件は、12月11日から16日まで6日間を議決する、日程第3常任委員の所属変更の件は、黒松農務委員(自民)を文教林務委員に所属変更する、つぎに日程第4石炭対策特別委員の補欠選任の件は中山議員(自民)の辞職に伴い、池田議員(自民)を補欠選任する、つぎに日程第5議案第1号ないし第37号、報告第1号および第2号を議題とし、知事から提案説明を聴取して散会する、以上の順序にて議事を進めることに決定。
- ⑧ 12日および13日の本会議の議事運営については、理事会に一任することに決定。

○12月13日 午前10時32分、議会運営委員会室において開議、午前10時36分散会、委員長 奥野 善造（自民）

- ① 一般質問の順位は、1番竹内議員(社会)、2番大方議員(社会)、3番井口議員(社会)、4番高橋(敏)議員(公明)、5番木南議員(共産)とすることおよび木南議員の通告内容の変更を了承。
- ② 議案の各委員会付託は、議案付託一覧表のとおり付託することに決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、日程第1議案第1号ないし第37号、報告第1号および第2号を議題とし、一般質問5人を行ない、終わつて予算、決算両特別委員会設置動議を大方議員(社会)から提出願う、議案の各委員会付託を行なう、つぎに日程第2請願第302号を議題とし、本件を石炭対策特別委員会に付託し、各委員会付託議案審査のため、(12月14日は休日)12月15日1日間休会、16日再開する、以上の順序にて議事を進めることに決定。
- ④ 明14日は日曜日であるが、議運委員長から、予算特別委員長に対し、特に、予算審議を行なわれるよう申し入れることを了承。

○12月16日 午後3時19分、議会運営委員会室において開議、午後3時28分散会、委員長 奥野 善造（自民）

- ① 総務部長から、追加提出案件について説明。
- ② 本日の本会議の議事は、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員西島順三氏の逝去報告(12月12日)を行ない、ついで日程第1議案第1号ないし第11号、第23号ないし第36号および報告第1号を議題とし、予

算特別委員長報告後、議案第1号ないし第5号、第7号ないし第9号、第11号、第23号ないし第36号を問題とし、起立採決、残余の案件は簡易採決を行なう、つぎに日程第2議案第12号ないし第22号および第37号を議題とし、7常任委員長の報告後、議案第12号、第15号、第16号、第20号、第21号および第37号を問題とし、起立採決、残余の案件は簡易採決を行なう、つぎに日程第3議案第38号を議題とし、知事の提案説明を聴取後、起立採決を行なう、つぎに日程第4議案第1号を議題とし、説明および委員会付託を省略して即決する、つぎに日程第5意見案第1号および第2号を議題とし、説明および委員会付託を省略して即決する、つぎに日程第6請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の後、請願第293号および陳情第153号の2件については、日程第2で議決する議案と同一内容であり、一事不再議との関係からも、今回は議長職権で日程から削除する旨の宣告を行なうこととし、残余の請願、陳情については、委員会決定のとおり決定する、つぎに、決算特別委員長から申し出の報告第2号をつぎの議会まで閉会中継続審査に付することならびに閉会中請願、陳情継続審査および事務調査の件は、各委員長申し出のとおり継続審査または調査に付することを議決し、最後に、議長から、閉会のあいさつがあつて閉会する、以上の順序にて議事を進めることに決定。

常任委員会

総務委員会

○12月2日 午前11時12分、第5委員会室において開議、
午後1時1分散会、委員長 島田 薫(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第153号 多度志町を廃し、深川市に編入することの件 (採択)

陳情の審査に先立ち、五十嵐委員(自民)から現地調査の経過について報告があり、異議なくこれを了承。

一般議事

① 委員長から、第3期北海道総合開発計画案に対する審議過程における意見を総合開発調査特別委員長あてに11月10日提出した旨を報告。

② 人事委員長および人事委員会事務局長から、職員の給与に関する報告および給与改定に関する勧告の概要について説明を聴取の後、

池島委員(社会)から、実施時期の表現が従来と変わっていることの見解と理由、他の地方公共団体の比較における評価、同じ初任給で出発した職員が給与差を生じている理由および実態調査をしたことの有無、春斗のはねかえり分と引き上げ率、寒冷地手当にふれていない理由、住宅手当について放置しておいてよいかどうか、公宅整備の成果に対する見解、

井口委員(社会)から、職員の住宅事情を真剣に考慮方および18歳の独身男子生計費のうち、住宅、光熱水費の具体的内容、

村本(政)委員(社会)から、住宅事情の改善はまだまだの感が強い、勧告の中にある意見の具体的意味、実施時期を5月1日としない理由と実施適当の時期、全国平均を下回るという内容、職員の給料表改定の基礎となつた民間との格差

等について質疑および意見があり、人事委員長、人事委員会事務局長から答弁。

③ 道警防犯部長から、昭和44年歳末取り締まり対策について説明。

④ 総務部長から、衆議院議員総選挙執行経費等について説明。

○12月11日 午前10時58分、第5委員会室において開議、
午前11時33分散会、委員長 島田 薫(自民)

一般議事

- ① 総務部長および財政課長から、第4回定例会提出議案等について説明。
- ② 五十嵐委員(自民)から、府県の行財政事情および公害、交通安全対策の推進状況調査経過について報告、異議なくこれを了承。

○12月16日 午前11時27分、第5委員会室において開議、
午前11時39分散会、委員長 島田 薫(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第13号(北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案)を議題とし、総務部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第18号(風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案)を議題とし、道警防犯部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第21号(雨竜郡多度志町を廃し、その区域を深川市に編入するの件)を議題とし、総務部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第37号(北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案)を議題とし、道警警務部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 付託の請願、陳情はいずれも閉会中継続審査とすることならびに地方行財政制度に対する対策の件ほか2件を閉会中継続調査とすることに決定。
- ② 公務員の住宅手当創設に関する要望意見書を発議することをはかり、異議なくそのことに決定。

厚生委員会

○12月4日 午前11時3分、第9委員会室において開議、
午後零時2分散会、委員長 新谷 市造(自民)

一般議事

- ① 委員長から、他府県における民生、衛生事情調査の経過について報告、異議なくこれを了承。
- ② 衛生部長から、檜山支庁管内における集団赤痢の発生状況と措置対策について説明を聴取の後、
大石委員(社会)から、経口伝染病の原因究明に時間の要する理由、赤痢患者の大量発生に鑑み、開業医の経験の有無、初動調査の不十分、医師の適正配置に対する万全対策および根本的検討方、

畑野委員(自民)から、住民保健衛生上の見地から、
医師の不足に対する十分な対処方、

渡辺(浩)委員(社会)から、道民の不安を解消するため、早急に対策の樹立方
等について意見および要望があつた。

- ③ 民生部長から、第4回定例会に提案予定の北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案について説明を聴取。

- ④ 民生部長から、社会福祉法人北海道リハビリの運営状況について説明を聴取の後、

合坪委員(社会)から、北海道リハビリにおける別会社職員の占める割合、社会福祉法人を別会社が経営することの問題性、道の指導面における欠陥、授産施設の商行為との関係、業界から受け入れられるような対処方、同趣旨施設との競合を配慮した指導強化に対する見解、

笠島委員(社会)から、社会福祉法人と別会社の経営との矛盾、収容者の社会復帰の状況、負債の整理と再建に対する助成意思の有無、印刷部門、クリーニング部門の設備投資の適否、会社の収支決算と経営上の関係外4件に関する資料の提出方
等について質疑、意見および要望があり、民生部長から答弁。

○12月16日 午前11時17分、第9委員会室において開議、
午前11時27分散会、委員長 新谷 市造(自民)

付託案件の審査

議案第14号(北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案)を議題とし、民生部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請願

第295号 越年見舞金増額支給の件 (採択)

残余の請願、陳情については、いずれも閉会中継続審査とすることに決定。

一般議事

- ① 社会福祉施設整備拡充の件外1件を閉会中継続調査の扱いとすることについては、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、前回の委員会において要求のあつた社会福祉法人北海道リハビリの運営状況等に関する資料の提出があつた旨を報告、なお、説明聴取および質疑等については、次回委員会において行なうこととした。
- ③ 合坪委員(社会)から、保留されている請願および陳情については、当該請願・陳情者に対して審議状況等

の経過を知らせることの検討方について発言があり、委員長から応答。

することをはかり、異議なくそのことに決定。

商工労働委員会

○12月5日 午前11時40分、第2委員会室において開議、午後零時15分散会、委員長 竹内 重雄(社会)

一般議事

- ① 委員長から、第3期北海道総合開発計画(案)に関する意見について、配付のとおり取りまとめ、総合開発調査特別委員長に提出した旨を報告。
- ② 労働部長から、バンケッター等の取り扱いについての労働省の見解、臨時国会で成立した失業保険法の一部改正ならびに千歳米軍基地の日本人従業員の人員整理問題について説明。
- ③ 商工部長から、低温による農家被害に関連する商工業者対策ならびに昭和44年度原子力発電所立地調査について説明。
- ④ 労働部長から、第4回定例会に提出予定の条例案について説明。

○12月16日 午後零時38分、第2委員会室において開議、午後1時2分散会、委員長 竹内 重雄(社会)

付託案件の審査

議案第15号(北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例案)を議題とし、労働部長から説明を聴取の後、

川合委員(社会)から、冬期間中、就職率の良い時期に条件を引き上げることの是非、時期が違うだけで貸付金額が3倍にもなることの是非、一時的でなく恒常的にやることについての考え方、貸付金額を15万円と決めた理由、追跡調査の必要の有無、失対制度打ち切りとの関係と関係団体に対する説明方、制度の強制化に対する懸念および高齢者対策等について質疑、意見および要望があり、労働部長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することを決定、付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 労働部長から、千歳米軍基地における日本人従業員の人員整理問題について説明。
- ② 企業局長から、苫小牧東部工業団地の買収について説明。
- ③ 付託の請願、陳情について、いずれも閉会中継続審査の扱いとすることならびに所管事務調査について中小企業振興対策の件外2件を閉会中継続調査の扱いと

農務委員会

○12月4日 午後1時40分、第7委員会室において開議、午後3時2分散会、委員長 石畑 久成(自民)

一般議事

- ① 新村委員(社会)から、低温による農作物被害対策に関する中央折衝の経過について報告、ついで農務部長から、措置概要について説明の後、
大方委員(社会)から、天災融資法の適用と激甚災害の指定をうけたが、道の態度を早期に決定しなかつた理由、制度資金償還の具体的金額の明示および要望融資額と決定となつた基準、不足した場合の措置、青米買い上げ制限枠の制約の有無等について質疑、農務部長から答弁があつて、異議なく報告を了承。
- ② 笠井委員(社会)から、新都市計画法による市街化区域、調整区域の農業生産におよぼす影響、農業振興地域整備法による地域指定との関連と3期計画に対する反映、農地壊廃の程度、市街化区域等の決定の時期と手続き、公聴会の編成、調整区域と農振地域との差異、38カ町村の農振地域の提出方、農業経営等の指導および税制上の問題等に対する円滑推進の可否と見解について質疑、意見および要求があり、農務部長、農地調整課長から答弁。

○12月16日 午前11時21分、第7委員会室において開議、午後零時34分散会、委員長 石畑 久成(自民)

付託案件の審査

議案第16号(北海道農業改良普及所条例の一部を改正する条例案)を議題とし、農務部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 12月11日付けをもつて、黒松委員(自民)が文教林務委員に所属が変更したことに伴い、委員席を着席のとおりにすることに決定。
- ② 付託の請願、陳情については、いずれも閉会中継続審査とすることおよび寒地農業確立に関する件を閉会中継続調査とすることに決定。
- ③ 農務部長から、本道に対する天災資金および自作農維持資金の増枠について説明。
- ④ 新村委員(社会)から、残留農薬問題に対する道のは

握状況と事前察知の有無、DDT、BHC等の残留潜在化と本道における農業使用量との関係および調査結果の報告と公表方について質疑および要望があり、農務部長から答弁。

(採択)

なお、残余の請願、陳情については、今後付託予定のものを含め閉会中継続審査の扱いとすることををはかり、異議なくそのことに決定。

建設委員会

○12月4日 午後零時3分、第4委員会室において開議、
午後零時26分散会、委員長 渡辺 省一(自民)

請願、陳情の審査

請願

- 第233号 道道豊頃隰内芽室線の区域変更の件
(採択)
- 第239号 札幌市道西3丁目線舗装工事(国費補助事業)の件
(取り下げ)
- 第254号 網走市道能取南湖畔線を道道に認定の件
(採択)
- 第255号 網走市道天都山線を道道に認定の件
(採択)
- 第275号 栗沢町地内6河川の1級河川昇格の件
(採択)
- 第278号 2級河川元浦川の河口処理の件(採択)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した国道昇格に関する中央折衝ならびに全国道路利用者大会出席の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、土木部長から、国道昇格路線について説明の後、
渡部(勇)委員(社会)から、海上路線の国道昇格による便益および国の考え方について質疑、土木部長から答弁。
- ② 土木部長および建築部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月16日 午前11時14分、第4委員会室において開議、
午前11時23分散会、委員長 渡辺 省一(自民)

付託案件の審査

議案第12号(北海道開発審査会条例案)および議案第22号(北海道道の路線の認定及び廃止に関する件)を順次議題とし、建築部長および土木部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請願

- 第293号 函館市道汐見立待岬線を道道に認定の件

一般議事

- ① 地方道整備促進の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることについてははかり、異議なくそのことに決定。
- ② 土木部長から、道路整備促進ならびに財源確保要望北海道地区東京大会について説明。

農地開拓委員会

○12月4日 午前11時50分、第3委員会室において開議、
午後零時45分散会、委員長 道下 美作(社会)

一般議事

- ① 委員長から、開拓負債整理法案に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、関連して、農地開拓部長から、同法案の成立に関し説明の後、
天谷委員(自民)から、処理金額、
影山委員(社会)から、償還期間別対象戸数、プロパー資金、公庫資金からの借り入れ金に対する解決方法、自作農資金限度額の適否、本年の低温被害等による負債増加額に対する措置、離農者分の負債に対する考え方について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。
- ② 委員長から、第3期北海道総合開発計画案にかかる意見について、配付のとおりとりまとめ総合開発調査特別委員長に提出した旨を報告。
- ③ 農地開拓部長から、昭和44年低温による作物被害概況について説明の後、
影山委員(社会)から、農林省の被害推定額との不都合および密接な連けい方について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。
- ④ 影山委員(社会)から、南長沼土地改良区の不具合工事に関し、その後の手直し工事の状況および業者等に対する措置、工事監督、執行体制の強化に対する考え方について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。

本日聴取した陳情

昭和45年度農業基盤整備事業予算編成について
北海道土地改良事業団体連合会参事

○12月16日 午前11時20分、第3委員会室において開議、

午後零時30分散会、委員長 道下 美作(社会)

付託案件の審査

議案第17号(北海道営土地改良事業分担金徴収条例等の一部を改正する条例案)を議題とし、農地開拓部長から説明の後、

山田委員(社会)から、農地転用に伴う分担金徴収事業の指定の方法および考え方、分担金徴収期間の根拠、徴収不要の面積、知事が徴収不要と認める場合の具体的内容、条例改正と国の指導との関連について質疑があり、農地開拓部長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定、委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

① 委員長から、農地開拓事業および土地改良事業推進に関する件について、閉会中継続調査の扱いとすることおよび請願について、閉会中継続審査の扱いとすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

② 津川委員(公正ク)から、米の生産調整等に関し、道の折衝態度および具体策を明示する必要性、協議会検討原案の有無および本委員会に提示方、農林省の会議にのぞむ姿勢、

影山委員(社会)から、生産調整と減反の基本的方向、1割減反に対する考え方、来年度継続事業の開田面積と繰り延べ措置に対する取り扱い方について質疑、意見および要望があり、農地開拓部長から答弁。

本日聴取した陳情

全道開拓者大会決議事項に対する要請について
北海道開拓農業協同組合連合会

水産委員会

○12月5日 午前11時13分、第6委員会室において開議、
午前11時20分散会、委員長 大内 三治(自民)

一般議事

① 委員長から、第3期北海道総合開発計画意見案に関する水産部所管部分に対する当委員会の意見を総合開発調査特別委員会に提出した旨を報告。

② 水産部長から、北海道養殖コンブ増産特別対策のその後の実施状況の概況について説明。

○12月16日 午前11時41分、第6委員会室において開議、
午前11時50分散会、委員長 大内 三治(自民)

一般議事

① 委員長から、阿部(文)議員(自民)が12月6日付けで議員を辞職したことに伴い、委員席を着席のとおり変更することについてはかり、異議なくそのことに決定。

② 水産部長および漁業調整課長から、北海道内水面漁業調整規則の一部改正について説明。

③ 付託の請願、陳情は、いずれも閉会中継続審査とすることならびに沿岸漁家振興対策の件を閉会中継続調査とすることに決定。

文教事務委員会

○12月4日 午後1時45分、第10委員会室において開議、
午後3時30分散会、委員長 高田 治郎(社会)

一般議事

① 委員長から、中山委員(自民)の議員辞職が2日付けで許可された旨を報告。

② 教育長から、昭和45年度高校適正配置計画にかかる札幌工業高校および札幌琴似工業高校の学科転換について説明の後、

青木委員(社会)から、学科転換の経緯と全道的な検討の必要性、

東委員(自民)から、工業化学科を化学工業科に変えた理由

について質疑、意見および要望があり、教育長および財務課長から答弁。

③ 学事課長から、さきの委員会において保留された高橋(辰)委員(自民)の白老日大高校に関する質疑に対する答弁の後、

高橋(辰)委員(自民)から、今後における指導の必要性、女子寮建築にかかる不正事実の有無、慎重な取り扱いの必要性、

青木委員(社会)から、旅費の受領と旅費支給規程との関連、私学経営状況にかかる資料提出の目的、私学協会のあり方、

湯田委員(社会)から、日大白老高校に対する前進的な指導の必要性、

原委員(社会)から、私学に対する道の調査権、

大沢委員(自民)から、白老日大高校と日大との関連および助成の有無、旅費支給の実態

等について質疑、意見および要望があり、学事課長から答弁。

○12月16日 午後零時5分、第10委員会室において開議、
午後零時12分散会、委員長 高田 治郎(社会)

付託案件の審査

- ① 議案第19号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）を議題とし、教育長から説明の後、青木委員(社会)から、高校間口を条例事項とする考え

について質疑および意見があり、教育長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第20号（北海道林産物検査条例を廃止する条例案）を議題とし、林務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、委員の異動に伴う議席の一部変更についてははかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることおよび学校教育ならびに学校施設設備の整備促進の件はか1件について閉会中継続調査の扱いとすることについてははかり、異議なくそのことに決定。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- 12月16日 午後零時48分、第8委員会室において開議、午後零時50分散会、委員長 天谷 平信(自民)

委員長から、請願、陳情について、今後付託予定のものも含め閉会中継続審査の扱いとすることについてははかり、異議なくそのことに決定。

石炭対策特別委員会

- 12月16日 午後2時30分、第10委員会室において開議、午後2時35分散会、委員長 大久保 和男(自民)

請願、陳情の審査

請願

第302号 雄別炭鉱株式会社並びに雄別鉄道株式会社維持存続の件 (採択)

その他の議事

- ① 委員長から、委員の異動に伴う議席の一部変更についてははかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、雄別炭鉱再建に関する要望意見書を提出することについてははかり、異議なく、案文の作成については理事会に一任することとした。
- ③ 委員長から、要望意見書ならびに明年度国費予算折衝のため委員派遣をはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 委員長から、残余の請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑤ 湯田委員(社会)から、電力用炭に関する資料の要求があつた。

札幌オリンピック冬季大会特別委員会

- 12月5日 午後1時45分、第8委員会室において開議、午後2時散会、委員長 森 春一(自民)

- ① 委員長から、札幌市議会副議長および札幌オリンピック冬季大会準備協議会実行委員長ならびに同副委員長から、国に要望中の創成川幹線道路に係る連続交差

点改良事業に対する中央情勢にかんがみ、本委員会に対する協力方の申し出があつた旨を報告。

- ② 冬季オリンピック対策室長から、札幌オリンピック冬季大会に係る昭和45年度の競技施設および関連施設等の予算計画について説明を聴取の後、井口委員(社会)から、札幌オリンピック冬季大会関連公共事業の進捗率、街路事業等に伴う問題点等について質疑、冬季オリンピック対策室長から答弁。
- ③ 総務部長から、札幌オリンピック冬季大会に係る宝くじ発行問題について説明を聴取の後、山下委員(社会)から、北海道宝くじ廃止の経緯もあり直ちに賛成できない、党内の意見を調整の上さらに論議したい旨の発言があつた。

○12月16日 午後零時58分、第10委員会室において開議、午後1時散会、委員長 森 春一(自民)

- ① 委員長から、付託の請願について閉会中継続審査の扱いとすることについてはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、昭和45年度国費予算に関する中央折衝を実施することについてはかり、異議なくそのことに決定、なお、派遣委員および実施時期等については、委員長に一任することとした。

5447 北方領土対策特別委員会

○12月5日 午後1時36分、第1委員会室において開議、午後1時43分散会、委員長 朝日 昇(自民)

野中委員(社会)から、北方領土問題に関する政府機構の拡充に関する要望ならびに北方領土復帰促進国民大会参加の経過について報告、異議なくこれを了承。

予算特別委員会

○12月13日 午後5時24分、第1委員会室において開議、午後5時34分散会、委員長 遠藤 英吉(社会)

正副委員長の互選

- ① 高橋(源)臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、高橋(正)委員(自民)の動議により指名推せんの方法により、遠藤委員(社会)を委員長に選

出。

- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、大方委員(社会)の動議により指名推せんの方法により、小川委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の日程等協議のため、午後5時26分休憩、午後5時30分再開、休憩中協議の結果、審査日程および方法について、明14日(日曜日)も委員会を開催することとし、配付の日程案のとおりとすることおよび議案は一括審議すること、質疑の方法は通告の形式により一括これを行なうこと、なお、一問一答を行なう場合は委員長に申し出ること、発言の順位は一般質問の例に準ずること等についてはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 本委員会の運営については自民、社会各2名の理事を選び、その協議により行なうことについてはかり、異議なくそのことに決定、理事には、自民党から高橋(正)委員および西尾委員、社会党から大方委員および青木委員をそれぞれ選出。

○12月14日 午前10時40分、第1委員会室において開議、午後4時33分散会、委員長 遠藤 英吉(社会)

- ① 委員席について、現在着席のとおりとすることについてはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 議案第1号ないし第11号および第23号ないし第36号ならびに報告第1号を一括議題とし、農務部および農地開拓部所管に対する質疑に入り、大方委員(社会)から、(1)酪農振興に関し、乳用牛の伸び悩みおよび乳製品のだぶつきの理由と農林省の対応策および道独自で調査する必要性、マーガリンや牛乳類似品に対する掌握状況と指導の関連、紙容器等価格引き下げに対する指導と要請の必要性、農民の手取り価格および乳製品価格の国際的比較、農民を守る立場の明確化、(2)米の生産調整に関し、準備行為の具体的内容、協議会の構成と協議時期に対する考え方、今日までの国への対処内容、自民党政調会長の発言内容の了知および今後の道の方針、輸出等積極的方策の必要性、協議に対する行政指導上の今後の考え方および融資制度に対する所見、機械化協業の運用方法等基本的な構想、(3)災害対策に関し、農業災害調査の遅れた理由、過去の災害対策との相違とその妥当性、(4)通年施工に関し、多目的ダムによる造田計画面積とそれ以外の造田計画面積および44年度までの開田面積、造田計画の目標年次と繰り延べ措置の有無および稲作抑制との関連、たこつば造田の現状と早急に精査する必要性、夏期施工の45年度の見通し、かんばい事業の国営、道営、団体営問の相違点と農民負担との関連および夏期施工によるメリット、事業主体別現行補助率と

改善の必要性、3期計画におけるは場整備事業に対する措置方策および積極的な推進の必要等について（関連して、笠井委員(社会)から、国の開田抑制の考え方と道の開田計画との関連、減反と通年施工との関連に対する所見について）、

青木委員(社会)から、配給米制度に関し、現状の適否および監督部門、もち米の配給数量の少ない理由と道の確保数量および価格、もち米輸入の根拠と数量および価格、登録店による自由米販売の適否、スーパー等における米穀販売の適否およびその措置、監督および指導体制の適否、協議会運営の適否とメンバー切り替えの意思等について

質疑、意見および要望があり、農務部長および農地開拓部長から答弁があつて、農務部および農地開拓部所管に対する質疑を終結、議事進行の都合により、午後1時37分休憩、午後2時45分再開。

③ 建築部および企画部所管に対する質疑に入り、

青木委員(社会)から、(1)設計委託業務に関し、委託しなければならない理由と問題点の有無、委託の特色性と委託量の増加傾向の是非および部の人員増強の必要性、(2)不良建築物に関し、是正措置に対する今後の方針、査察地域以外のものに対する措置、内装材に対する取り締まり基準の有無と規制の方法、融資制度等一貫した行政の必要性、(3)45年度開発予算に関し、予算要求の基本姿勢と確保方策、地方交付税の年度間調整、道路、河川の国庫負担率の引き下げ等に対する方策、社会基盤整備の遅れ等に対する方策、冬季オリンピック関連施設予算を別わくとする必要性、北海道東北開発公庫の道に対する融資わくの確保、対象業種の拡大および金利引き下げの必要性、青函トンネルと新幹線構想にかかる予算要求内容、期成会と予算および運動の進め方、10割補助にかかる自治、大蔵両大臣間の昨年の覚え書きの内容と問題点等について

質疑、意見および要望があり、建築部長および企画部長から答弁があつて、建築部および企画部所管に対する質疑を終結、理事者交替のため午後4時6分休憩、午後4時10分再開。

④ 商工部所管に対する質疑に入り、

大石委員(社会)から、(1)食品添加物商品に関し、道民に対する周知および業界に対する指導方策、禁止添加物以外で使用の好ましくないものに対する方策、(2)不当表示商品に関し、道独自の調査、取り締まりおよび指導の必要性等について

質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁があつて、商工部所管に対する質疑を終結。

○12月15日 午前10時45分、第1委員会室において開議、午後4時54分散会、委員長 遠藤 英吉(社

会)

① 教育委員会、公安委員会および企業局所管に対する質疑に入り、

笠島委員(社会)から、芸術文化の振興に関し、道立美術館新設に対する考え方と時期、用地の選定と知事公館所在地に対する考え方、演劇史、芸術史、年鑑等の編さんの必要性、郷土芸術祭に対する評価および助成額引き上げの考え、未開催地域に対する指導方策、中央芸術祭構想の有無と時期、審議会等の機構の必要性、文化振興課設置の考え、指導者養成の考え方、芸術、文化面の社会教育主事を充実する必要性について、

青木委員(社会)から、(1)駐車禁止に関し、車庫規制法運用の問題点の有無、許可事務の状況、違反車に対する取り締まりの状況と方針、職員増強の必要性、(2)警察職員の給与に関し、不均衡の是正および低給与者の実態調査の考え、(3)苫小牧工業団地に関し、取得価格の積算基礎および最終譲渡価格の見直しによる算出の必要性、公共性と独立採算性の関連と今後の慎重な進め方、(4)北広島団地に関し、上・下水道事業に対する町財源の補てん策、道営による考えおよび検討過程、他府県の状況、企業局強化の考え方、道営団地の将来計画に対する所見等について

質疑、意見および要望があり、教育長、道警交通部長、警務部長、道警本部長および企業局長から答弁があつて、教育委員会、公安委員会および企業局所管に対する質疑を終結、議事進行の都合により、午後零時33分休憩、午後2時19分再開。

② 人事委員会および総務部所管に対する質疑に入り、

青木委員(社会)から、(1)道職員の給与勧告に関し、民間大企業を調査対象とする必要性、民間比較の常時調査と早期勧告の必要性、低給与是正に対する具体的な措置と作業内容および任命権者との協議内容、通勤手当に対する具体的な考え方、人事委勧告の完全実施に対する考え方と基本姿勢、住宅手当の制度化に対する決意、(2)45年度予算編成に関し、政策予算の考え方と編成方針、長期財政計画に基づく年次基準の明確化、45年度予算を骨格予算とすることの見解および慎重な予算執行の必要性、(3)市町村財政に関し、道と市町村間の超過負担の現状と解消策、三角山の自然保護に関連して全道的に自然保護予算を計上する考え、市町村道除雪費の確保に対する折衝経過と成果、選挙費に対する考え方、(4)開発予算に関し、高率補助に対する自治、大蔵両大臣間の覚え書きの内容および考え方ならびに真剣な対処方、(5)私学育英資金制度に関し、研究の意思および積極的な対処方、(6)職員の欠員不補充に関し、定数に対する現状調査と制度化の必要性、臨時職員、委託事業の関連等について

質疑、意見および要望があり、人事委員会事務局長および総務部長から答弁があつて、人事委員会および総務部所管に対する質疑を終結、議事進行の都合により午後3時35分休憩、午後4時10分再開。

- ③ 知事に対する総括質疑に入り、
大方委員(社会)から、本道農業行政に関し、農民の不信感除去に対する具体的対応策および農民の立場に立つた考え方、輸入乳製品に対する課徴金、原料乳不足払い制度の現状、資本自由化等に対する見解、本道農業の将来性確立に対する決意、人口流出防止策および離農対策の必要性、農民負担に対する見解について質疑、意見および要望があり、知事から答弁があつて、知事に対する総括質疑を終結。
- ④ 委員長から、付託案件に対する意見の調整を各派代表者会議において行なうことについてはかり、異議なくそのことに決定。

○12月16日 午後2時44分、第1委員会室において開議、
午後2時49分閉会、委員長 遠藤 英吉(社会)

- ① 委員長から、付託案件に対する各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、議案第1号ないし第11号および第23号ないし第36号ならびに報告第1号を一括議題とし、異議なく議案については原案可決、報告については承認議決とすることに決定、ついで、青木委員(社会)から、本委員会の審議にかんがみ、議案第1号ないし第11号および第23号ないし第36号についてつぎの付帯意見(委員長報告参照)を委員長報告に挿入されたい旨の動議が提出され、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、委員長報告については、委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあつた。

資 料

第4回定例道議会の議 決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日 公布番号
北海道開発審査会条例	44.12.16	44.12.22 道条例 第45号
北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例	同	同 道条例 第46号
北海道児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第47号
北海道日雇労働者就職促進等助成条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第48号
北海道農業改良普及所条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第49号
北海道営土地改良事業分担金徴収条例等の一部を改正する条例	同	同 道条例 第50号
風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第51号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第52号
北海道林産物検査条例を廃止する条例	同	同 道条例 第53号
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 道条例 第54号
北海道学校職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 道条例 第55号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第56号
北海道地方警察職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 道条例 第57号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同 道条例 第58号

第32回衆議院議員総選挙結果

① 第32回(戦後11回目)衆議院議員総選挙は、昭和44年12月7日公示され、27日の投票日を旨ざして全国123の選挙区で一斉に史上初の師走総選挙戦に入った。

届け出締め切り日の12月8日には946人が立候補したが12月11日に北海道5区で立候補の坂本和氏(無所属新)が公選法第11条および第86条の2の規定に該当したため、立候補届け出を却下され、最終的には945人が486の新しい議席(競争率1.94倍)をめぐる激しい争いが終盤まで続けられ、12月27日、一斉に投票が行なわれ、新しい顔ぶれが確定した。(投票率68.17%)

都道府県別当選者数

		(区)	(定数)	自民	社会	公明	民社	共産	諸派	無所属
北海道		(5)	(22)	12	7	2	1	0	0	0
青森	森手	(2)	(7)	4	0	1	0	1	0	1
岩手	城田	(2)	(8)	4	4	0	0	0	0	0
宮城	秋田	(2)	(9)	6	3	0	0	0	0	0
山形	福島	(2)	(8)	4	3	0	1	0	0	0
福島	茨城	(2)	(8)	3	3	0	0	0	0	2
茨城	栃木	(3)	(12)	9	1	0	1	0	0	1
栃木	群馬	(3)	(12)	9	2	1	0	0	0	0
群馬	埼玉	(2)	(10)	6	2	1	0	0	0	1
埼玉	埼玉	(3)	(10)	8	2	0	0	0	0	0
千葉	千葉	(4)	(13)	8	2	1	0	0	0	2
東海	東京	(3)	(13)	10	1	2	0	0	0	0
神奈川	神奈川	(10)	(39)	17	2	10	4	6	0	0
新潟	新潟	(3)	(14)	5	3	3	0	0	0	0
新潟	新潟	(4)	(15)	9	6	0	0	0	0	0
富山	富山	(2)	(6)	4	2	0	0	0	0	0
石川	石川	(2)	(6)	5	0	0	0	0	0	1
福山	福山	(1)	(4)	3	1	0	0	0	0	0
山梨	山梨	(1)	(5)	3	2	0	0	0	0	0
長野	長野	(4)	(13)	7	4	0	0	1	0	1
岐阜	岐阜	(2)	(9)	7	2	0	0	0	0	0
静岡	静岡	(3)	(14)	9	3	1	1	0	0	0
愛知	愛知	(6)	(20)	13	4	0	3	0	0	0
三河	三河	(2)	(9)	7	2	0	0	0	0	0
滋賀	滋賀	(1)	(5)	3	1	0	1	0	0	0
京都	京都	(2)	(10)	4	1	2	1	2	0	0
大阪	大阪	(6)	(23)	8	2	6	6	1	0	0
兵庫	兵庫	(5)	(19)	9	4	3	2	1	0	0
奈良	奈良	(1)	(5)	3	0	1	1	0	0	0
和歌山	和歌山	(2)	(6)	3	2	1	0	0	0	0
鳥取	鳥取	(1)	(4)	3	1	0	0	0	0	0
島根	島根	(1)	(5)	4	1	0	0	0	0	0
岡山	岡山	(2)	(10)	6	2	2	0	0	0	0
広島	広島	(3)	(12)	8	1	1	1	0	0	1
山口	山口	(2)	(9)	6	0	1	2	0	0	0
徳島	徳島	(1)	(5)	3	1	1	0	0	0	0
香愛	香愛	(2)	(6)	4	1	0	0	0	0	1
高知	高知	(3)	(9)	6	2	0	0	0	0	1
高知	高知	(1)	(5)	3	0	1	0	1	0	0
福佐	福佐	(4)	(19)	9	3	4	2	1	0	0
佐賀	佐賀	(1)	(5)	4	1	0	0	0	0	0
長崎	長崎	(2)	(9)	5	2	1	1	0	0	0
熊本	熊本	(2)	(10)	8	1	1	0	0	0	0
大分	大分	(2)	(7)	5	1	0	0	0	0	1
宮崎	宮崎	(2)	(6)	4	1	0	0	0	0	1
鹿児島	鹿児島	(4)	(11)	8	1	0	0	0	2	2
計		(123)	(486)	288	90	47	31	14	0	16

② 本道では、定数22人に対し、41人が立候補したが、5区で立候補の坂本氏が届け出を却下されたため、最終的には40人となり、新議席をめぐって激しい舌戦が続けられ、12月27日道民の審判をうけ、新しい勢力分野が決定した。

党 派 別 立 候 補 者 数						党 派 別 当 選 者 数				
	計	前	元	新	解散時 の議席		計	前	元	新
自 民	12	9	1	2	9	自 民	12	9	1	2
社 会	13	9	1	3	9	社 会	7	5	0	2
民 社	2	1	0	1	1	民 社	1	1	0	0
公 明	3	1	0	2	1	公 明	2	1	0	1
共 産	5	0	0	5	0	共 産	0	0	0	0
諸 派	3	0	0	3	0	諸 派	0	0	0	0
無 所 属	2	0	1	1	0	無 所 属	0	0	0	0
合 計	40	20	3	17	20 欠員 2	合 計	22	16	1	5

なお、道内における選挙区別投票結果および候補者別得票数を参考までに掲げる。

衆議院議員選挙の選挙区別投票結果調

(昭和44年12月27日執行)

区 市・ 支 庁別	選挙当日の有権者数		投票者数		投票者数		棄権者数		投票率(%)		前回投票率%
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
第1区											
札幌市	327,778	324,592	197,416	196,382	393,798	130,362	128,210	258,572	60.23	60.50	71.84
小樽市	63,483	72,980	42,424	46,376	88,800	21,059	26,604	47,663	66.83	63.55	78.21
江別市	19,175	19,379	13,223	13,605	26,828	5,952	5,774	11,726	68.96	70.20	79.70
千歳市	19,991	16,088	15,840	11,447	27,287	4,151	4,641	8,792	79.24	71.15	82.96
市計	430,427	433,039	268,903	267,810	536,713	161,524	165,229	326,753	62.47	61.84	62.16
石狩支庁	27,427	26,229	21,566	19,281	40,847	5,861	6,948	12,809	78.63	73.51	76.82
後志支庁	48,704	54,194	37,478	38,912	76,390	11,226	15,282	26,508	76.95	71.80	80.77
郡部計	76,131	80,423	59,044	58,193	117,237	17,087	22,230	39,317	77.56	72.36	74.89
小計	506,558	513,462	327,947	326,003	653,950	178,611	187,459	366,070	64.74	63.49	74.80
第2区											
旭川市	89,998	95,726	47,597	46,311	93,908	42,401	49,415	91,816	52.89	48.38	72.97
留萌市	12,111	12,939	6,440	5,371	11,811	5,671	7,568	13,239	53.17	41.51	71.15
稚内市	17,818	18,684	7,772	6,815	14,587	10,046	11,869	21,915	43.62	36.48	63.83
士別市	10,516	11,607	6,256	5,974	12,230	4,260	5,633	9,893	59.49	51.47	64.13
名寄市	11,187	11,723	7,383	6,816	14,199	3,804	4,907	8,711	66.00	58.14	69.76
富良野市	10,115	11,092	6,298	6,271	12,569	3,817	4,821	8,638	62.26	56.54	76.57
市計	151,745	161,771	81,746	77,559	159,304	69,999	84,213	154,212	53.87	47.94	50.81
上川支庁	56,827	60,624	41,191	41,300	82,491	15,636	19,324	34,960	72.48	68.12	78.70
留萌支庁	23,628	25,600	16,959	16,738	33,697	6,669	8,862	15,531	71.78	65.38	78.62
宗谷支庁	18,111	19,097	12,232	12,459	24,691	5,879	6,638	12,517	67.54	65.24	74.72
郡部計	98,566	105,321	70,382	70,497	140,879	28,184	34,824	63,008	71.41	66.94	74.72
小計	250,311	267,092	152,128	148,055	300,183	98,183	119,037	217,220	60.78	55.43	74.18
第3区											
函館市	75,953	89,732	48,179	51,423	99,602	27,774	38,309	66,083	63.43	57.31	65.97
市計	75,953	89,732	48,179	51,423	99,602	27,774	38,309	66,083	63.43	57.31	65.97
渡島支庁	73,234	78,761	53,100	52,989	106,089	20,134	25,772	45,906	72.51	67.28	71.33
檜山支庁	26,130	28,111	20,611	20,357	40,968	5,519	7,754	13,273	78.88	72.42	75.14
郡部計	99,364	106,872	73,711	73,346	147,057	25,653	33,526	59,179	74.18	68.63	71.31
小計	175,317	196,604	121,890	124,769	246,659	53,427	71,835	125,262	69.53	63.46	69.45

第 4 区

室蘭市	52,690	53,257	105,947	37,230	35,488	72,718	15,460	17,769	33,229	70.66	66.64	68.64	74.29
夕張市	23,377	25,125	48,502	16,194	15,679	31,873	7,183	9,446	16,629	69.27	62.40	65.71	75.71
岩見沢市	21,350	23,101	44,451	15,156	15,532	30,688	6,194	7,569	13,763	70.99	67.24	69.04	71.87
苫小牧市	31,290	31,723	63,013	21,743	21,890	43,633	9,577	9,831	19,380	69.49	69.00	69.24	76.98
美唄市	16,929	18,877	35,806	12,326	12,626	24,952	4,603	6,251	10,854	72.81	66.89	69.69	76.86
芦別市	14,044	15,186	29,230	9,985	10,066	20,051	4,059	5,120	9,179	71.10	66.28	68.60	76.89
赤平市	11,202	11,939	23,141	8,358	8,173	16,531	2,844	3,766	6,610	74.61	68.46	71.44	74.53
三笠市	13,429	14,959	28,388	9,790	10,085	19,875	3,639	4,874	8,513	72.90	67.42	70.01	74.25
滝川市	13,138	13,405	26,543	8,744	8,335	17,079	4,394	5,070	9,464	66.56	62.18	64.34	76.41
砂川市	8,332	9,056	17,388	6,203	6,390	12,593	2,129	2,666	4,795	74.45	70.56	72.42	80.84
歌志内市	6,497	7,116	13,613	4,943	4,970	9,913	1,554	2,146	3,700	76.08	69.84	72.82	74.64
深川市	10,722	11,896	22,618	8,256	8,622	16,878	2,466	3,274	5,740	77.00	72.48	74.62	77.84
市計	223,000	235,640	458,640	158,928	157,856	316,784	64,072	77,784	141,856	71.27	66.99	69.07	—
空知支庁	55,274	61,092	116,366	44,779	46,864	91,643	10,495	14,228	24,723	81.01	76.71	78.75	82.08
胆振支庁	49,401	52,067	101,468	38,656	39,442	78,098	10,745	12,625	23,370	78.25	75.75	76.97	79.51
日高支庁	33,373	34,815	68,268	25,817	26,474	52,291	7,556	8,421	15,977	77.36	75.87	76.60	78.19
郡部計	138,048	148,054	286,102	109,252	112,780	222,032	28,796	35,274	64,070	79.14	76.17	77.61	—
小計	361,048	383,694	744,742	268,180	270,636	538,816	92,868	113,058	205,926	74.28	70.53	72.35	77.37

第 5 区

釧路市	59,631	62,099	121,730	41,038	40,430	81,468	18,593	21,669	40,262	68.82	65.11	66.93	73.28
帯広市	41,036	41,916	82,952	30,176	30,147	60,323	10,860	11,769	22,629	73.54	71.92	72.72	79.45
北見市	26,107	27,538	53,645	20,265	21,027	41,292	5,842	6,511	12,353	77.62	76.36	76.97	73.55
網走市	13,101	14,258	27,359	10,034	10,107	20,141	3,067	4,151	7,218	76.59	70.89	73.62	73.15
紋別市	11,556	12,623	24,179	8,445	8,685	17,130	3,111	3,938	7,049	73.08	68.80	70.85	69.60
根室市	13,934	15,082	29,016	8,352	7,691	16,043	5,582	7,391	12,973	59.94	50.99	55.29	64.52
市計	165,365	173,516	338,881	118,310	118,077	236,397	47,055	55,429	102,494	71.54	68.06	69.76	—
網走支庁	70,052	75,038	145,090	59,327	61,006	120,333	10,725	14,032	24,757	84.69	81.30	82.94	78.66
十勝支庁	65,061	69,266	134,327	56,126	57,994	114,120	8,935	11,272	20,207	86.27	83.73	84.96	85.45
釧路支庁	32,585	33,120	65,705	25,557	25,398	50,955	7,028	7,722	14,750	78.43	76.68	77.55	75.37
根室支庁	15,559	15,338	30,897	12,059	10,785	22,844	3,500	4,553	8,053	77.50	70.32	73.94	74.20
郡部計	183,257	192,762	376,019	153,069	155,183	308,252	30,188	37,579	67,767	83.53	80.50	81.98	—
小計	348,622	366,278	714,900	271,379	273,270	544,649	77,243	93,008	170,251	77.84	74.61	76.19	77.29
合計	1,641,856	1,727,130	3,368,986	1,141,524	1,142,733	2,284,257	500,332	584,397	1,084,729	69.53	66.16	67.80	75.22

内訳

市部	1,046,490	1,093,698	2,140,188	676,066	672,734	1,348,800	370,424	420,964	791,388	64.61	61.51	63.02	73.10
郡部	595,366	633,432	1,228,798	465,458	469,999	935,451	129,908	163,433	293,341	78.18	74.20	76.13	78.45

第1区(定員5人)

(太字は当選者を示す。)

候補者別得票数調

届出番号 氏名 市町村名	1 南 道 郎	2 島 本 虎 三	3 横 路 孝 弘	4 中 山 信 一 郎	5 箕 輪 登 斎 藤	6 齋 藤 実 橋 野 信 一	7 橋 野 信 一	8 荒 井 英 二	9 寿 正 原 一	10 泊 谷 裕 夫	11 地 崎 宇 三 郎	有 効 投 票	無 効 投 票	合 計
札幌市	4,689	3,308	8,381	1,890	4,131	7,083	35	3,173	4,561	3,306	11,776	52,333	250	52,583
同	3,468	2,547	8,135	2,743	3,736	6,661	31	3,639	3,660	3,164	10,851	48,635	270	48,905
同	3,256	4,063	9,779	1,328	3,723	8,676	29	3,877	2,854	5,766	7,814	51,165	250	51,415
同	4,005	4,127	10,726	1,680	4,039	9,514	22	5,718	4,495	5,664	8,844	58,834	404	59,238
同	3,090	2,837	8,368	1,290	3,431	8,081	34	4,518	3,337	6,245	7,261	48,492	339	48,831
同	4,002	4,854	10,885	1,797	3,406	12,157	45	5,500	4,691	6,923	10,936	65,196	445	65,641
同	6,117	4,198	11,065	1,962	5,733	10,052	87	5,138	4,439	6,049	11,753	66,593	362	66,900
計	28,627	25,934	67,339	12,690	28,199	62,224	283	31,563	28,037	37,117	59,235	391,248	2,320	393,568
小樽市	875	7,620	1,818	71	5,836	3,096	13	2,241	1,822	1,218	1,019	25,629	97	25,726
同	841	3,626	1,718	69	5,344	1,881	14	1,846	1,958	760	951	19,008	69	19,077
同	899	3,326	1,569	111	4,503	1,955	17	1,683	1,894	668	1,241	17,860	81	17,947
同	1,048	5,296	2,367	126	6,102	3,174	10	2,281	2,110	1,760	1,658	25,932	117	26,049
計	3,663	19,868	7,472	377	21,785	10,106	54	8,051	7,784	4,406	4,869	88,435	364	88,799
江別市	1,873	2,294	5,246	448	2,864	3,122	10	2,020	3,810	2,761	3,277	26,725	100	26,825
千歳市	2,603	1,039	2,757	448	7,402	2,886	12	686	1,747	1,804	5,740	27,124	163	27,287
広島町	198	296	791	102	428	509	2	223	316	381	853	4,099	22	4,121
石狩町	135	395	551	48	346	490	1	117	992	137	886	4,098	22	4,120
当別町	385	680	1,226	369	1,743	715	14	561	1,066	712	1,238	8,709	60	8,769
新篠津村	84	57	271	35	231	162	0	34	458	68	659	2,059	12	2,071
厚田村	60	191	187	13	247	377	1	36	155	205	473	1,945	24	1,969
浜益村	52	350	716	27	256	324	1	34	246	113	480	2,599	32	2,631

恵庭町	1,239	680	2,369	360	3,640	1,584	15	475	1,052	1,012	4,612	17,038	124	17,162
石狩支庁計	2,153	2,649	6,111	954	6,891	4,161	34	1,480	4,285	2,628	9,201	40,547	266	40,843
島牧村	18	249	158	3	416	252	1	17	647	63	232	2,056	16	2,072
寿都町	66	606	357	30	1,452	321	3	101	304	103	379	3,722	28	3,750
黒松内町	84	248	354	22	488	255	13	306	277	438	308	2,793	30	2,823
蘭越町	141	444	955	41	951	372	5	91	354	505	762	4,621	42	4,663
二七町	182	223	447	23	517	315	4	114	368	177	373	2,743	23	2,766
真狩村	67	212	284	81	464	261	2	31	227	76	299	2,004	18	2,022
留寿都村	35	230	248	6	200	153	0	51	122	23	214	1,282	14	1,296
喜茂別町	85	258	431	65	502	349	1	62	465	258	454	2,930	53	2,983
京極町	87	281	318	17	628	217	1	37	574	322	274	2,756	30	2,786
倶知安町	455	1,093	1,181	185	1,731	935	4	432	717	1,354	1,285	9,377	100	9,477
共和村	123	628	646	28	796	396	0	85	586	720	406	4,414	39	4,453
岩内町	414	1,535	1,395	76	1,439	1,382	4	456	1,656	589	1,218	10,164	56	10,220
泊村	49	287	278	22	452	242	1	176	249	72	206	2,034	18	2,052
神恵内村	20	277	265	10	130	151	1	14	133	126	219	1,346	3	1,349
積丹町	23	364	435	27	623	299	1	44	1,095	51	163	3,125	17	3,142
古平町	34	216	249	21	277	307	0	46	2,651	203	69	4,073	13	4,086
仁木町	262	549	346	18	658	307	8	136	446	217	377	3,324	24	3,348
余市町	452	1,612	1,469	141	2,007	1,336	6	751	2,249	779	1,091	11,893	122	12,015
赤井川村	22	175	88	2	136	104	0	112	203	75	148	1,065	16	1,081
後志支庁計	2,619	9,487	9,904	818	13,867	7,954	55	3,067	13,323	6,151	8,477	75,722	662	76,384
市計	36,766	49,135	82,814	13,963	60,250	78,338	359	42,320	40,378	46,088	83,121	533,532	2,947	536,479
支庁計	4,772	12,136	16,015	1,772	20,758	12,115	89	4,547	17,608	8,779	17,678	116,269	958	117,227
合計	41,538	61,271	98,829	15,735	81,008	90,453	448	46,867	57,986	54,867	100,799	649,801	3,905	653,706

第 2 区 (定員 4 人)

届出番号 氏名 市町村名	1 安井 吉典 (社会前)	2 高橋 敏男 (共產新)	3 佐々木秀世 (自民前)	4 松浦周太郎 (自民前)	5 芳賀 貢 (社会前)	有効投票	無効投票	合 計
旭 川 市	22,777	10,256	25,543	21,460	13,083	93,119	789	93,908
留 萌 市	2,544	893	2,022	4,346	1,869	11,674	136	11,810
稚 内 市	2,495	1,298	2,950	4,602	3,087	14,432	153	14,585
士 別 市	1,693	901	1,721	3,614	4,156	12,085	145	12,230
名 寄 市	2,412	1,030	2,134	5,556	2,922	14,054	143	14,197
富 良 野 市	2,736	1,388	1,809	3,823	2,675	12,431	135	12,566
東 鷹 栖 町	777	258	804	1,024	454	3,317	38	3,355
鷹 栖 町	885	356	1,137	813	433	3,624	32	3,656
東 神 楽 町	2,428	86	140	367	30	3,051	15	3,066
当 麻 町	849	428	1,322	1,522	925	5,046	82	5,128
比 布 町	597	424	440	998	520	2,979	26	3,005
愛 別 町	621	152	772	1,165	660	3,370	47	3,417
上 川 町	1,487	202	963	682	1,416	4,750	34	4,784
東 川 町	1,649	232	566	1,250	176	3,873	46	3,919
美 瑛 町	2,188	745	1,220	2,492	1,387	8,032	75	8,107
上 富 良 野 町	975	263	2,158	2,758	885	7,039	85	7,124
中 富 良 野 町	674	197	1,230	1,094	629	3,824	23	3,847
南 富 良 野 町	513	144	390	763	1,239	3,049	39	3,088
占 冠 村	189	36	151	360	242	978	22	1,000
和 寒 町	253	293	849	1,232	1,343	3,970	44	4,014
剣 淵 町	122	235	401	415	1,770	2,943	18	2,961
朝 日 町	179	87	485	487	954	2,192	10	2,202
風 連 町	336	270	281	2,823	584	4,294	55	4,349
下 川 町	1,610	269	1,125	1,169	1,382	5,555	84	5,639
美 深 町	516	394	178	4,239	814	6,141	101	6,242
音 威 子 府 村	190	62	66	546	491	1,355	10	1,365

中川町	221	106	255	966	629	2,177	27	2,204
上川支庁計	17,259	5,239	14,933	27,165	16,963	81,559	913	82,472
増毛町	739	351	1,241	1,482	655	4,468	77	4,545
小平町	547	203	690	1,711	787	3,938	46	3,984
苫前町	477	268	951	1,483	877	4,056	53	4,109
羽幌町	1,310	520	4,114	2,971	1,520	10,435	122	10,557
初山別村	162	88	329	670	391	1,640	27	1,667
遠別町	318	288	574	1,181	780	3,141	38	3,179
天塩町	405	336	574	1,380	585	3,280	24	3,304
幌延町	282	188	493	751	622	2,336	15	2,351
留萌支庁計	4,240	2,242	8,966	11,629	6,217	33,294	402	33,696
猿払村	255	150	320	674	481	1,880	36	1,916
浜頓別町	467	304	862	520	1,039	3,192	27	3,219
中頓別町	274	181	302	776	736	2,269	31	2,300
枝幸町	512	485	980	1,543	686	4,206	57	4,263
歌登町	238	186	441	727	443	2,035	25	2,060
豊富町	372	362	994	1,201	762	3,691	59	3,750
礼文町	171	73	794	1,003	368	2,409	35	2,444
利尻町	209	112	408	1,318	258	2,305	33	2,338
東利尻町	146	156	626	1,139	308	2,375	19	2,394
宗谷支庁計	2,644	2,009	5,727	8,901	5,081	24,362	322	24,684
市計	34,657	15,766	36,179	43,401	27,792	157,795	1,501	159,296
支庁計	24,143	9,490	29,626	47,695	28,261	139,215	1,637	140,852
合計	58,800	25,256	65,805	91,096	56,053	297,010	3,138	300,148

第 3 区 (定員 3 人)

市町村名	届出番号							無効投票	合計	
	1 清野 (共産新)	2 山内 広 (社会前)	3 高橋 甚八 (諸派新)	4 小田原 よしぞう (社会新)	5 田中 正巳 (自民前)	6 阿部 文男 (自民新)	7 佐藤 孝行 (自民元)			
西 館 市	9,416	18,764	158	11,029	17,018	29,085	13,385	98,855	747	99,602
松 前 町	262	438	11	688	3,410	1,025	2,768	8,602	75	8,677
福 島 町	166	334	12	401	1,799	929	1,398	5,039	87	5,126
知 内 町	53	208	1	367	1,268	769	1,075	3,741	31	3,772
木 古 内 町	156	905	6	662	988	1,035	895	4,647	32	4,679
上 磯 町	696	2,098	16	1,591	2,185	2,236	1,646	10,468	116	10,584
大 野 町	237	643	10	441	1,390	1,356	846	4,923	58	4,981
七 飯 町	342	1,635	18	405	1,926	1,823	1,801	7,950	76	8,026
亀 田 町	1,570	4,040	23	2,286	2,156	4,147	2,042	16,264	118	16,382
戸 井 町	65	272	3	59	466	740	1,535	3,140	47	3,187
尻 岸 内 町	89	367	4	72	547	825	2,100	4,004	36	4,040
鍛 法 華 村	44	79	2	13	713	226	326	1,403	6	1,409
南 茅 部 町	80	641	6	95	783	1,206	2,801	5,612	52	5,664
鹿 部 村	22	372	1	18	190	492	1,134	2,229	34	2,263
砂 原 村	61	431	1	38	671	955	979	3,136	49	3,185
森 町	265	1,645	16	246	1,205	2,121	2,404	7,902	101	8,003
八 雲 町	521	2,512	16	345	1,803	2,129	1,991	9,320	62	9,382

長万部町	774	1,814	21	672	1,477	1,100	814	6,672	51	6,723
渡島支庁計	5,403	18,434	167	8,402	22,977	23,114	26,555	105,052	1,031	106,083
江差町	340	183	5	3,948	760	696	1,026	6,958	47	7,005
上ノ国町	411	302	4	1,434	680	845	1,393	5,069	42	5,111
厚沢部町	135	240	12	1,049	1,714	348	714	4,212	28	4,240
乙部町	204	97	10	794	697	274	1,560	3,636	37	3,673
熊石町	133	206	2	749	1,116	211	644	3,061	7	3,068
大成町	207	102	2	248	627	173	1,402	2,761	25	2,786
奥尻町	26	93	4	266	974	793	1,234	3,390	19	3,409
瀬棚町	54	155	3	253	437	137	1,230	2,269	18	2,287
北檜山町	257	278	3	739	354	295	2,642	4,568	24	4,592
今金町	187	563	6	1,190	770	560	1,482	4,758	37	4,795
檜山支庁計	1,954	2,219	51	10,670	8,129	4,332	13,327	40,682	284	40,966
市計	9,416	18,764	158	11,029	17,018	29,085	13,385	98,855	747	99,602
支庁計	7,357	20,653	218	19,072	31,106	27,446	39,582	145,734	1,315	147,049
合計	16,773	39,417	376	30,101	49,124	56,531	53,267	244,589	2,062	246,651

第4区(定員5人)

市町村名	1 篠田弘作 (自民前)	2 岡田春夫 (社会前)	3 南条徳男 (自民前)	4 小平 忠 (民社前)	5 後藤鉄治 (共産新)	6 相沢武彦 (公明新)	7 渡辺惣蔵 (社会前)	8 井野正揮 (社会新)	有効投票	無効投票	合 計
室 蘭 市	2,523	3,636	22,244	6,483	4,283	10,412	1,134	21,728	72,443	267	72,710
夕 張 市	3,025	15,328	1,949	2,008	2,341	4,397	2,241	372	31,661	202	31,863
岩 見 沢 市	3,451	4,790	2,279	10,084	1,238	3,158	5,134	384	30,518	159	30,677
苫 小 牧 市	14,716	2,452	1,355	5,013	2,399	5,992	923	10,666	43,516	117	43,633
美 唄 市	4,346	9,311	1,767	4,014	1,513	2,966	723	165	24,805	147	24,952
芦 別 市	3,016	1,327	1,694	2,881	834	3,067	7,025	176	20,020	28	20,048
赤 平 市	2,403	1,318	1,387	1,038	839	2,740	6,545	169	16,439	92	16,531
三 笠 市	1,908	2,467	1,094	1,833	1,157	2,729	8,449	140	19,777	96	19,873
漣 川 市	3,452	1,062	2,590	2,356	732	2,110	4,504	187	16,993	86	17,079
砂 川 市	1,138	490	1,592	1,895	601	1,324	4,900	90	12,536	55	12,591
歌 志 内 市	1,424	540	842	368	790	1,411	4,411	55	9,841	71	9,912
深 川 市	2,569	647	3,461	3,476	827	1,709	4,022	121	16,832	46	16,878
北 村	236	279	215	2,516	26	175	40	9	3,496	13	3,509
栗 沢 町	835	1,695	548	3,294	151	609	1,090	96	8,318	41	8,359
南 幌 町	418	327	523	1,984	40	227	66	22	3,607	13	3,620
奈 井 江 町	657	305	571	1,224	417	638	1,514	45	5,371	55	5,426
上 砂 川 町	489	413	625	766	540	1,147	4,319	30	8,329	43	8,372
江 部 乙 町	632	148	819	1,118	114	264	701	23	3,819	13	3,832
由 仁 町	1,066	1,039	563	2,140	117	414	264	172	5,775	19	5,794
長 沼 町	1,297	1,161	1,034	3,520	183	519	182	162	8,058	45	8,103
栗 山 町	1,398	1,928	1,309	4,129	350	914	397	184	10,609	55	10,664
月 形 町	645	535	551	1,248	66	296	168	28	3,537	28	3,565
浦 臼 町	437	380	376	873	28	259	68	53	2,474	4	2,478
新 十 津 川 町	1,290	261	384	2,083	90	426	868	65	5,467	41	5,508
妹 背 牛 町	850	115	1,207	775	191	306	521	19	3,984	17	4,001
秩 父 別 町	579	73	339	1,257	90	189	331	24	2,882	13	2,895
多 度 志 町	463	53	390	656	56	215	311	23	2,167	4	2,171
雨 竜 町	1,044	61	328	755	13	219	430	16	2,866	13	2,879
北 竜 町	325	51	352	1,320	28	122	323	6	2,527	18	2,545

沼田町	900	155	244	1,921	176	385	656	21	4,458	13	4,471
幌加内町	1,056	102	200	1,120	59	276	590	11	3,414	25	3,439
空知支庁計	14,617	9,081	10,578	32,699	2,735	7,600	12,839	1,009	91,158	473	91,631
豊浦町	1,153	137	846	522	103	533	45	763	4,102	19	4,121
虻田町	1,514	183	790	637	101	1,054	95	1,808	6,182	41	6,223
洞爺村	553	51	341	310	13	168	16	191	1,643	12	1,655
大滝村	177	36	151	170	11	261	13	325	1,144	8	1,152
壮瞥町	642	90	369	470	47	409	49	842	2,918	19	2,937
伊達町	3,029	501	2,692	1,493	365	1,762	227	3,021	13,090	50	13,140
登別町	1,830	713	3,478	1,025	750	2,906	244	9,172	20,118	39	20,157
白老町	2,954	535	1,035	824	301	1,391	192	2,150	9,382	50	9,432
早来町	992	257	588	566	109	250	47	580	3,389	20	3,409
追分町	363	764	297	491	293	173	25	820	3,226	19	3,245
厚真町	1,012	106	477	994	73	274	39	1,441	4,416	29	4,445
川鶴町	863	114	765	1,189	217	495	38	985	4,666	25	4,691
穂別町	627	83	349	954	84	355	34	973	3,459	21	3,480
胆振支庁計	15,709	3,570	12,178	9,645	2,467	10,031	1,064	23,071	77,735	352	78,087
日高町	444	85	455	293	75	330	25	672	2,379	18	2,397
平取町	1,063	221	543	1,253	72	524	55	1,438	5,169	43	5,212
門別町	1,746	323	1,081	1,444	337	810	114	1,434	7,289	34	7,323
新冠町	1,162	213	519	564	117	673	54	862	4,164	25	4,189
静内町	2,476	561	1,664	1,320	441	1,437	237	2,516	10,652	53	10,705
石狩町	1,075	165	790	953	69	378	55	824	4,309	46	4,355
河内町	2,202	481	1,703	1,106	734	1,147	203	2,051	9,627	75	9,702
似似町	1,725	250	442	610	205	377	73	775	4,457	45	4,502
幌泉町	1,753	113	382	312	56	532	37	676	3,861	40	3,901
日高支庁計	13,646	2,412	7,579	7,855	2,106	6,208	853	11,248	51,907	379	52,286
市計	43,971	43,368	42,254	41,449	17,554	42,515	50,017	34,253	315,381	1,366	316,747
支庁計	43,972	15,063	30,335	50,199	7,308	73,839	14,756	35,328	220,800	1,204	22,004
合計	87,943	58,431	72,581	91,648	24,862	66,354	64,773	69,581	536,181	2,570	538,751

第5区(定員5人)

市町村名	氏名	届出番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	有効投票	無効投票	合計
			日光福治 (共産新)	中川一郎 (自民前)	みの政市 (社会前)	本名 (自民前)	永井 勝次郎 (社会前)	安田貫六 (自民新)	細野重利 (公明新)	岡田利春 (社会前)	藤本国夫 (諸派新)			
釧路市	剣路		4,288	10,556	835	8,616	557	7,336	12,797	35,878	275	81,138	325	81,463
帯広市	常市		2,852	12,031	15,793	18,354	496	929	6,484	1,471	1,668	60,078	237	60,315
北見市	北見		2,941	2,658	358	2,496	12,224	16,068	3,589	756	43	41,133	153	41,286
網走市	網走		1,608	2,121	651	1,342	5,055	6,373	2,222	609	61	20,042	98	20,140
紋別市	紋別		626	1,179	184	1,919	4,978	5,598	1,900	623	30	17,037	92	17,129
根室市	根室		823	3,147	272	2,613	197	2,043	1,837	4,892	82	15,906	136	16,042
東藻琴村	東藻琴		93	370	102	99	401	794	159	31	9	2,058	10	2,068
女満町	女満		107	690	73	384	784	1,489	410	61	11	4,009	12	4,021
美幌町	美幌		453	2,587	266	1,747	2,981	3,463	1,183	357	40	13,077	72	13,149
津別町	津別		261	667	93	1,958	2,384	806	624	117	17	6,927	32	6,959
斜里町	斜里		331	619	282	816	2,790	2,517	905	180	20	8,460	53	8,513
清里町	清里		139	366	89	819	1,682	1,278	470	80	10	4,933	20	4,953
小清水町	小清水		153	491	188	774	1,434	1,226	572	85	19	4,942	28	4,970
野付町	野付		163	599	59	120	524	1,818	221	63	6	3,573	19	3,592
子府町	子府		231	459	123	246	930	2,207	317	131	5	4,649	22	4,671
戸塚町	戸塚		151	353	84	1,050	1,759	1,478	313	65	12	5,265	24	5,289
留辺蘂町	留辺蘂		342	443	171	1,442	3,263	2,394	686	162	20	8,923	41	8,964
佐呂間町	佐呂間		385	611	81	163	1,509	2,555	424	51	4	5,783	30	5,813
常呂町	常呂		83	319	47	163	781	2,133	291	45	10	3,872	18	3,890
生田町	生田		82	361	18	269	987	932	123	24	1	2,797	15	2,812
速瀬町	速瀬		492	882	179	629	2,998	4,623	948	158	13	10,922	57	10,979
丸瀬布村	丸瀬布		91	113	7	290	1,335	1,039	241	16	2	3,134	20	3,154
白滝町	白滝		25	308	5	15	581	752	136	11	2	1,835	7	1,842
上湧別町	上湧別		148	309	29	73	1,314	2,779	457	59	8	5,176	33	5,209
湧別町	湧別		80	556	34	236	976	2,297	362	43	15	4,599	23	4,622
滝上町	滝上		88	541	34	654	1,703	1,593	365	41	9	5,028	22	5,050
興部町	興部		102	269	50	401	926	1,824	339	64	10	3,985	19	4,004
西興部村	西興部		38	138	13	306	414	431	197	21	8	1,566	12	1,578
雄武町	雄武		157	519	118	337	1,040	1,648	320	50	8	4,197	24	4,221
網走支庁計	網走支庁計		4,195	12,570	2,145	12,991	33,496	42,076	10,063	1,915	259	119,710	613	120,323
青森町	青森		478	3,488	3,227	3,502	86	108	1,026	292	268	12,475	56	12,531
士幌町	士幌		308	1,313	1,117	1,136	15	60	248	46	39	4,282	13	4,295

上士幌	140	637	1,936	1,741	31	42	345	97	32	5,001	30	5,031
鹿	97	1,014	1,197	1,595	21	65	350	60	40	4,439	19	4,458
新	139	1,046	1,995	1,978	54	78	503	174	67	6,034	36	6,070
清	305	2,005	1,983	2,275	89	92	860	261	209	8,079	37	8,116
芽	276	2,030	2,543	2,681	54	72	566	118	102	8,442	35	8,477
中	78	488	1,204	441	6	7	123	16	19	2,382	10	2,392
更	77	1,162	740	295	9	17	121	27	29	2,477	10	2,487
忠	20	482	585	269	6	4	102	14	6	1,488	9	1,497
大	113	1,956	1,618	746	33	29	295	71	31	4,892	21	4,913
広	244	4,049	861	411	37	40	376	151	35	6,204	27	6,231
幕	283	1,393	5,752	1,298	44	66	408	194	75	9,513	36	9,549
池	319	1,835	3,130	1,010	81	110	507	284	139	7,415	28	7,443
豊	125	1,120	1,260	986	41	41	381	94	48	4,096	21	4,117
本	174	2,211	2,291	2,108	75	170	511	193	120	7,853	42	7,895
足	205	1,422	2,590	2,386	110	94	866	220	162	8,055	37	8,092
陸	68	651	1,234	1,256	44	183	367	95	99	3,997	21	4,018
浦	151	1,888	1,499	1,928	69	54	474	315	92	6,470	30	6,500
十	3,600	30,190	36,762	28,042	905	1,332	8,429	2,722	1,612	113,594	518	114,112
支庁計												
銅路	98	886	29	491	36	393	314	1,003	9	3,259	23	3,282
厚	410	2,959	119	1,408	66	321	753	2,011	44	8,091	43	8,134
浜	191	1,243	55	912	63	295	560	1,155	25	4,499	25	4,524
標	397	1,685	250	1,067	71	630	660	2,380	36	7,176	44	7,220
弟	212	1,214	111	1,127	88	657	635	1,981	23	6,048	71	6,119
阿	188	1,008	81	772	47	265	846	4,983	15	8,205	56	8,261
寒	63	375	82	351	15	122	156	465	5	1,634	11	1,645
居	590	833	112	1,824	41	397	973	2,770	25	7,565	46	7,611
糠	215	674	39	618	14	68	624	1,844	18	4,114	36	4,150
白	2,364	10,877	878	8,570	441	3,148	5,521	18,592	200	50,591	355	50,946
音												
支庁計												
別	401	1,547	386	1,580	104	1,233	990	1,888	37	8,166	46	8,212
中	200	1,436	254	1,438	93	833	633	2,543	30	7,460	45	7,505
標	48	648	87	666	36	667	416	1,087	16	3,671	15	3,686
羅	53	1,114	43	377	35	540	465	780	8	3,415	23	3,438
根	702	4,745	770	4,061	268	3,273	2,504	6,298	91	22,712	129	22,841
支庁計												
市	13,138	31,692	18,093	35,340	23,507	38,347	28,329	44,229	2,159	235,334	1,041	236,375
支	10,861	58,382	40,555	53,664	35,110	49,829	26,517	29,527	2,162	306,607	1,615	308,222
合	23,999	90,074	58,648	89,004	58,617	88,176	55,346	73,756	4,321	541,941	2,656	544,597

党 派 別 ・ 選 挙 区 別 得 票 数

選挙区分	党派別	自民党	社会党	民主党	民社党	公明党	共産党	諸派	無所属	計
第1区		181,807	214,967	41,538	90,453	46,867	448	73,721		649,801
第2区		156,901	114,853	—	—	25,256	—	—	—	297,010
第3区		157,922	69,518	—	—	16,773	376	—	—	244,589
第4区		160,532	192,785	91,648	66,354	24,862	—	—	—	536,181
第5区		267,254	191,021	—	55,346	23,999	4,321	—	—	541,941
計		(40.7) 924,416	(34.5) 783,144	(5.9) 133,186	(9.4) 212,153	(6.1) 137,757	(3.4) 5,145	(3.4) 73,721		(100.0%) 2,269,522

12月のメモ

- 1 ○政府、第32回衆議院議員総選挙を7日公示、27日投票を決定。
○道、44年度の中小企業関係功労者37人を表彰。
○道、44年度の道内工場適地調査結果をまとめる、札幌地区は感光紙、塗料。
- 2 ○衆院、与野党の代表質問が終了後解散、総選挙へスタート。
○政府、米の生産調整政府案を決定、転換奨励金は最高4万円。
○文化庁、本年度3回目の文化財補助金交付カ所を決定、総額7億3,000万円の385件、本道関係437万円、八窓庵外7件。
- 3 ○外務省、北方領土問題に関するわが国の見解をまとめる、北方領土返還要求は正当、ソ連主張根拠なし。
○道開発庁、交通安全施設整備新3カ年計画の本道関係総事業費をまとめる、94億4,400万円。
○道公安委、栃内吉彦道公安委員長の辞任に伴う後任に藤野重夫道公安委員を互選。
- 6 ○知事、国鉄道支社長およびホクレン会長の会談で北海道農産品ターミナルの設立を決定。
○北海道選管委、6日現在の全道選挙人名簿登録者数をまとめる、338万6,074人。
- 7 ○第32回衆議院議員総選挙公示。
- 8 ○自治省、選挙人名簿登録者数をまとめる、総数6,974万5,367人。
- 9 ○北海道、新幹線建設促進期成会発足、会長に町村知事を選任。
- 10 ○労働省、来春卒業予定の中、高校生に対する求人状況と今春卒業者の初任給に関する調査結果を発表、求人率、平均中学卒69倍、高校卒4.5倍、初任給、平均中学卒2万684円、高校卒2万4,378円。
○経済企画庁、当面の企業行動と企業の成長戦略に関する調査結果を発表、年率10~20%見込む、40年代後半も高度成長。
- 11 ○第4回定例道議会開会、会期16日まで6日間。
- 12 ○札幌医科大学、機動隊の見守る中で教職員の手により封鎖解除なる。
○北電、本年度を初年度とする電力長期10カ年計画を発表、44~53年度300万kW。
- 13 ○外務省、「国際収支黒字下における対外経済取り引きに関する政策」と題し70年代の前半の中期的展望に立つた基本的見解を明示、円切り上げの圧力回避に大幅な自由化を。
○東京銀行、来年の世界主要国経済見通しをまとめる、成長率やや鈍化、いぜん物価上昇。
○道、44年度の私学教育功績者を決定、北海高校飯塚鶴藏氏外4人。
- 15 ○政府事務次官会議で災害関係復旧経費として予備費の使用を決定、本道土木に8億円。
- 16 ○自治省、43年度全国市町村の決算状況をまとめる、赤字市町村減少。
○運輸省、新日本海フェリーの小樽~舞鶴1,061キロの航路事業の免許を認可。
○第4回定例道議会閉会。
- 17 ○厚生省、公害病の範囲を決定、水俣病など6種類。
- 18 ○警察庁、少年非行の現況と見通しを発表、凶悪な犯行多発。
- 19 ○農林省、44年産米の収穫量を発表、1,400万3,000トン、史上3位。
○農林省、道内4統計調査事務所、44年産水稻の最終収穫量を発表、93万3,800トン、平年作下回る。
- 20 ○厚生省、公害地域の指定地域として水俣市など6カ所を指定。
- 22 ○日本勧業銀行、1,970年代の日本経済の展望を発表、国民総生産3.9倍に、所得は世界第3位。
- 23 ○ジエトロ、1,970年版海外市場白書を発表、貿易近年にない伸び。
○厚生省、厚生行政基礎調査の結果を発表、世帯人員3.5人、核家族は56%。
- 26 ○道開発局、農村圏開発構想をまとめる、当面根室地区を予定、三つの生活圈で構成。
- 27 ○第32回衆議院総選挙投票日、投票率全国68.17%、北海道67.80%。
- 28 ○衆議院の新議席決まる、自民288、社会90、公明47、民社31、共産14、無所属16、道内自民12、社会7、公明2、民社1。
○道教委、43年度の教育費の調査結果をまとめる、総額1,000億円越える、父母負担やや減少。
- 29 ○農林中央金庫、全国の農協預金残高を発表、5兆円を突破、本道の伸び全国最低。